

**平成 25 年度**  
**流山市環境基本計画策定に係るアンケート**

2014 年(平成 26 年)

流山市

## 目次

序	本調査について	1
第1節	市民アンケート	2
1	回答者の属性	2
2	ごみやリサイクルについて	4
3	市内の緑や自然環境について	10
4	地球温暖化問題について	15
5	環境学習や地域環境について	20
6	市の重点的取組について	26
第2節	事業者アンケート	32
1	回答事業者の属性	32
2	ごみやリサイクルについて	34
3	生物多様性について	38
4	地球温暖化問題について	39
5	環境対策や地域環境について	43
6	市の重点的取組について	46
第3節	自由意見	49
1	市民の自由意見	49
2	事業者の自由意見	59

## 序 本調査について

本調査は、流山市環境基本計画の策定及び推進にあたって、流山市の市民や事業者の意識・意向を反映することを目的として、下記の通りに実施しました。

市民アンケート	
実施時期	平成 25 年 11 月 13 日から同月 30 日(投函)まで
配布・回収方法	郵送
対象	市内在住の市民 3000 人
回答返送数	1270
回答返送率	42.3%
備考	<p>小数点 2 位以下を四捨五入をしているため、合計が 100.0%にならない場合がある。</p> <p>クロス集計の p 値は、実際の回答の数(実測値)が、割合として期待される回答の数(期待値)とどれほど違っているのかを調べたもの(カイ 2 乗検定)。0.05 未満(5%未満)で連関がある(有意)とみて、結果を記載している。</p> <p>クロス集計にあたっては、設問との関連性が強いと思われる属性について分析を行い、p 値により連関が認めにくいものや、回答者が少数のものを除いて、主要な結果を記載している。</p>
事業者アンケート	
実施時期	平成 25 年 11 月 13 日から同月 30 日(投函)まで
配布・回収方法	郵送
対象	市内に事業所を置く事業者 200
回答返送数	90
回答返送率	45.0%
備考	<p>小数点 2 位以下を四捨五入をしているため、合計が 100.0%にならない場合がある。</p> <p>クロス集計の p 値は、実際の回答の数(実測値)が、割合として期待される回答の数(期待値)とどれほど違っているのかを調べたもの(カイ 2 乗検定)。0.05 未満(5%未満)で連関がある(有意)とみて、結果を記載している。</p> <p>クロス集計にあたっては、設問との関連性が強いと思われる属性について分析を行い、p 値により連関が認めにくいものや、回答者が少数のものを除いて、主要な結果を記載している。</p>

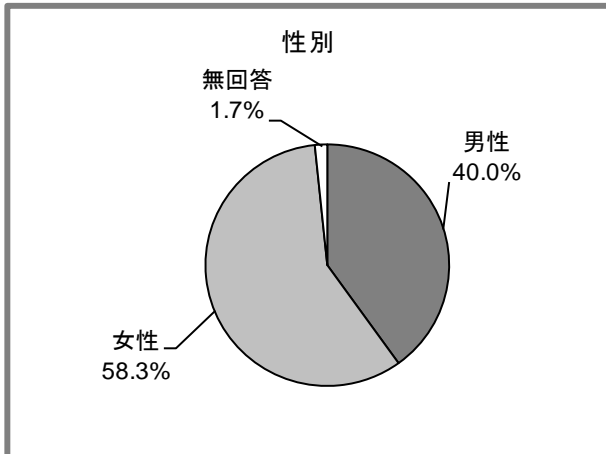
参考：以前に行われたアンケートの回収率

概要	実施年度	回収率
まちづくり達成度アンケート	平成 24 年度	市民:43.7%
流山市一般廃棄物処理基本計画策定	平成 21 年度	市民:50.8% 事業者:37.4%
生物多様ながれやま戦略及び 流山市地球温暖化対策実行計画策定	平成 21 年度	市民:39.3% 事業者:43.0%

# 第1節 市民アンケート

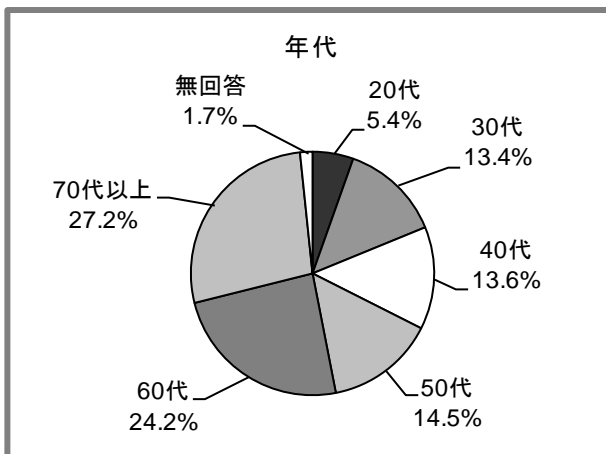
## 1 回答者の属性

### 1) 性別



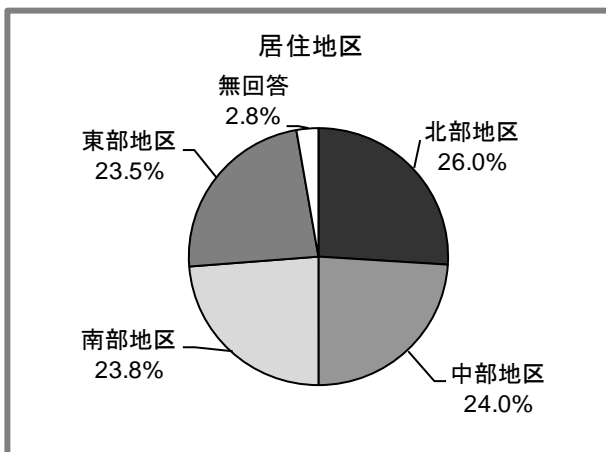
回答者の性別は、女性のほうが男性より多くなっています。

### 2) 年代



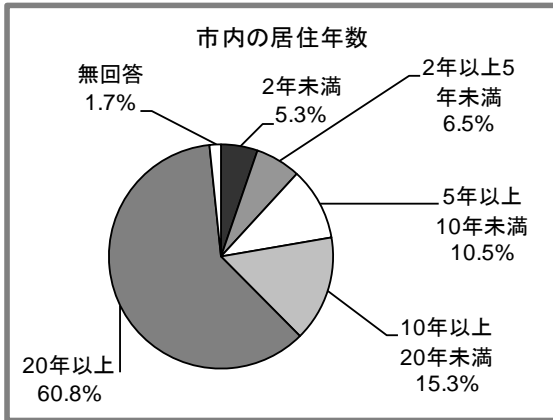
回答者の年齢は、「70代以上」「60代」が最も多く、合わせると半数を越えています。若年ほど少なく、最も少ないのは「20代」です。

### 3) 居住地区



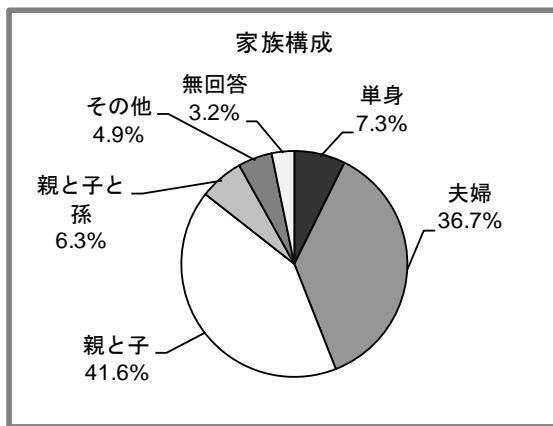
回答者の居住地区は、「北部地区」が最も多くなっていますが、地区ごとの差はほとんどありません。

#### 4) 市内の居住年数



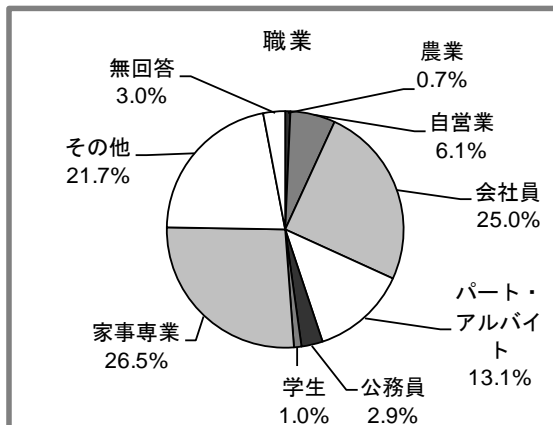
回答者の居住年数は、「20年以上」が最も多く、全体の6割となっています。次が「10年以上20年未満」です。

#### 5) 家族構成



回答者の家族構成は、「親と子」が最も多く、次が「夫婦」で、合わせると全体の8割近くになります。

#### 6) 職業



回答者の職業は、「家事専業」が最も多く、次は「会社員」で、合わせると全体の5割を超えています。

#### クロス集計：各居住地区の属性別について

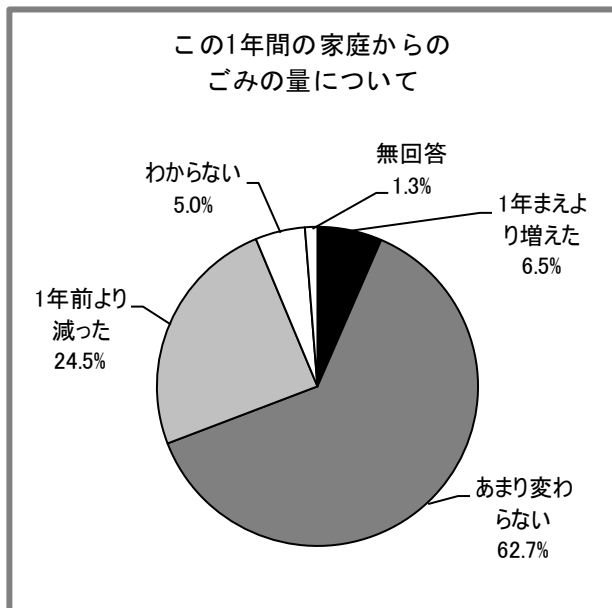
「年代」の別 (p=0.007) では「70代以上」について、東部地区での割合が高く、南部地区での割合が低い傾向が見られます。「60代」については北部地区での割合が高い傾向が見られます。

「性別」「居住年数」「家族構成」「職業」の別では、連関はみられません。

年代	中部地区	東部地区	南部地区	北部地区
20代	22%	19%	26%	29%
30代	31%	18%	29%	21%
40代	25%	22%	28%	24%
50代	21%	22%	31%	24%
60代	23%	24%	21%	31%
70代以上	28%	34%	19%	28%

## 2 ごみ問題やリサイクルについて

### 1) この1年間で家庭から出されたごみの量について



「あまり変わらない」とした人が最も多く、全体の6割を超えています。次は「1年前より減った」となっています。

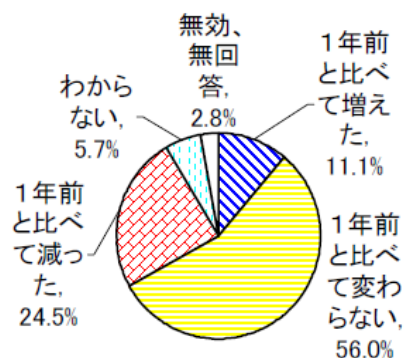
以前のアンケート（下記参照）と比較すると、「あまり変わらない」が多くなり、「1年前より増えた」が少なくなっています。

参考：流山市一般廃棄物処理基本計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

Q16.この1年であなたのご家庭が出したごみの量をお聞きます。

n=1,520

項目	人数	割合
1年前と比べて増えた	168	11.1%
1年前と比べて変わらない	851	56.0%
1年前と比べて減った	372	24.5%
わからない	87	5.7%
無効、無回答	42	2.8%
合計	1,520	100.0%

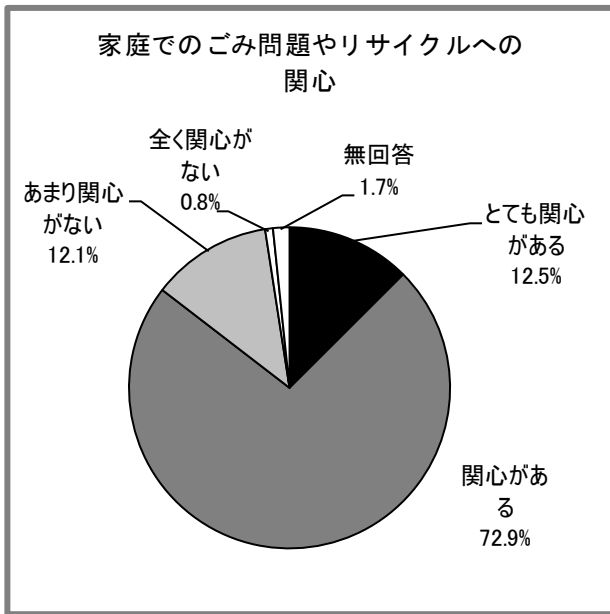


### クロス集計：家族構成別について

家族構成別（ $p=0.000003$ ）では、「夫婦」の家族で比較のごみが減りやすい傾向が、「親と子」の家族で減りにくい傾向が見られます。

家族構成	1年前より増えた	あまり変わらない	1年前より減った
夫婦	5%	61%	30%
親と子	9%	63%	22%

2) 家庭でのごみ問題やリサイクルへの関心について



「関心がある」が最も多く、全体の7割を超えています。次は「とても関心がある」で、合わせると全体の9割近くに達しています。

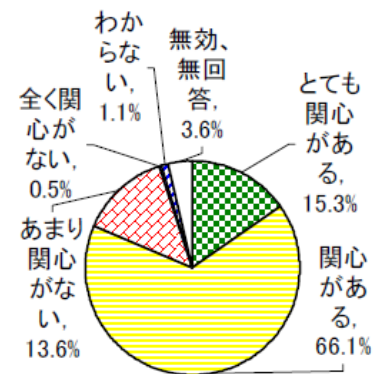
以前のアンケート（下記参照）と比較すると、「とても関心がある」が少なくなっていますが、「関心がある」と合わせた場合は多くなっています。

参考：流山市一般廃棄物処理基本計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

Q17. あなたのご家庭のごみ問題やリサイクルに関する関心度についてお聞きします。

n=1,520

項目	人数	割合
とても関心がある	233	15.3%
関心がある	1,004	66.1%
あまり関心がない	206	13.6%
全く関心がない	7	0.5%
わからない	16	1.1%
無効、無回答	54	3.6%
合計	1,520	100.0%



クロス集計：年代別、職業別について

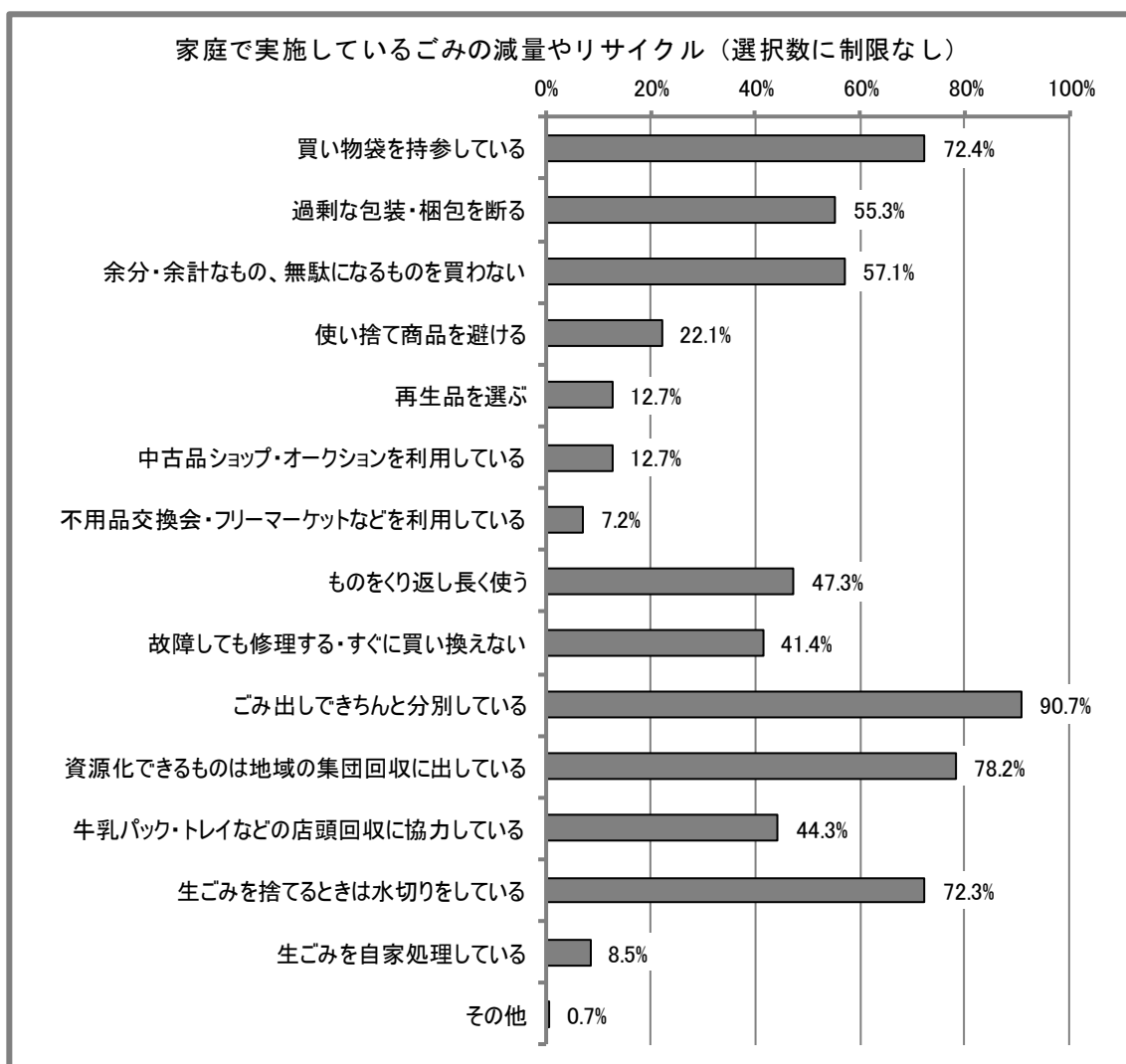
年代別 (p=0.000000000000000006) では、「30代」「40代」で比較的関心が低く、「60代」「70代以上」で高い傾向が見られます。

年代	とても関心がある	関心がある
30代	9%	68%
40代	8%	69%
50代	7%	75%
60代	16%	78%
70代以上	17%	77%

職業別 (p=0.0002) では「家事専業」で、比較的関心が高い傾向が見られます。

職業	とても関心がある	関心がある
会社員	13%	68%
パート・アルバイト	5%	73%
家事専業	17%	74%

3) ごみの減量やリサイクルの取組みで、ご家庭で実施しているものを選んでください  
(選択数に制限なし)



「ごみ出しできちんと分別している」が最も多く、9割を超えています。次いで「資源化できるものは地域の集団回収に出している」が約8割、「買い物袋を持参している」「生ごみを捨てる時は水切りをしている」が約7割となっています。

以前のアンケート(次頁参照)と比較すると、8項目が多く、もしくは同じとなっています。少なくなったものは「再生品を選ぶ」「中古品ショップ・オークションを利用している」「生ごみを自家処理している」で、「余計・余分なもの、無駄になるものを買わない」「資源化できるものは地域の集団回収に出している」は比較対象外です。

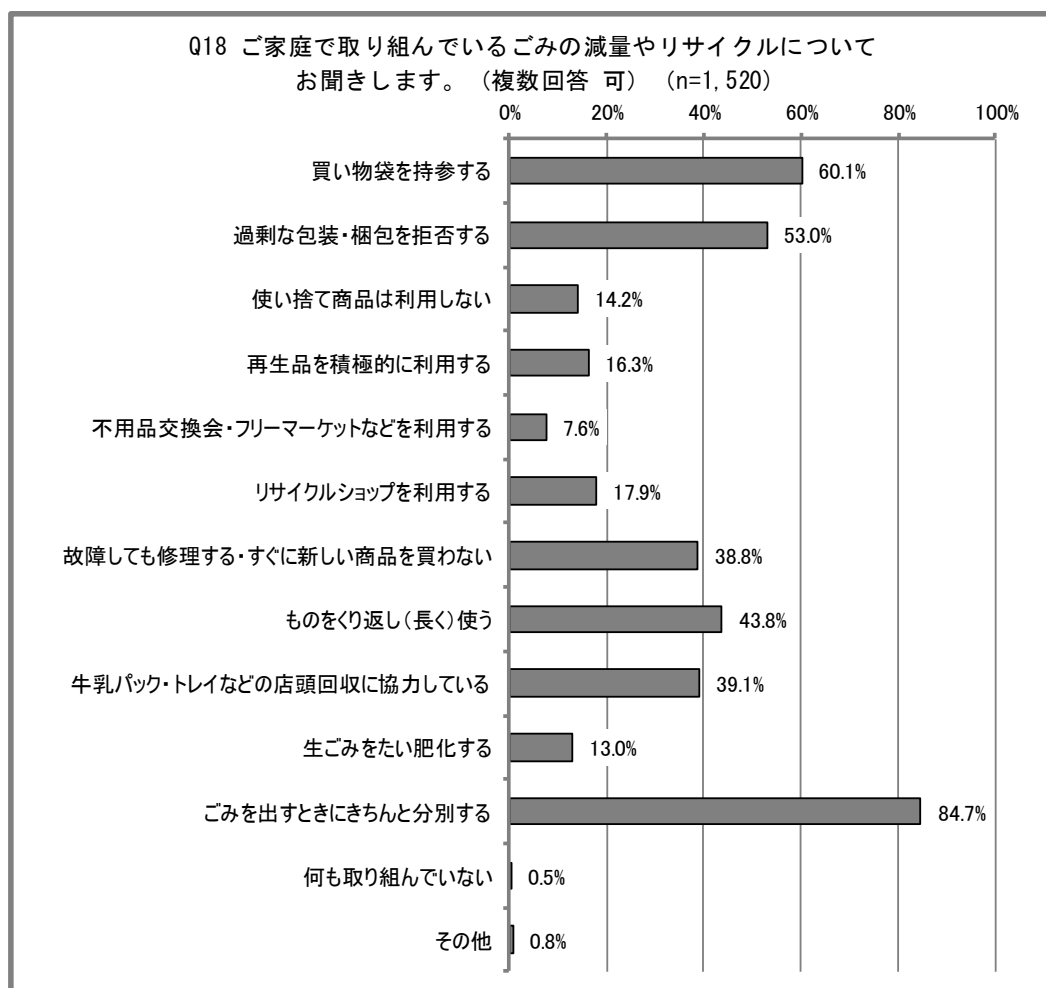
【その他】

- 生ごみ乾燥機使用。
- コンポスト使用。(2件)
- ディスポーザー使用。(2件)
- 生ごみ・野菜屑、枝葉を庭や畑等への埋める。(9件)
- 買い物をするとき、長く使うものかそうでないものかを考えて買い物をする。
- 風呂の湯を使って洗濯をしている。こまめに電気を消している。



- 図書館を利用している。
- 不用品は、ごみ出しする前に、知人に使わないかと声をかける。
- 集団回収できる紙や牛乳パックは、必ずとっておく。
- 月額契約で、業者に依頼しています。
- 店も客も、レジ袋の使用が増えているように思います。
- 袋類、包装紙は色々に利用している。
- 衣類のリフォーム。
- スーパーで回収してもらう。
- 当番をつかって、きれいにしています。
- ニンジン、ジャガイモ等を皮のついたまま使い、ヘタもぎりぎりまで切り、捨てる部分をなるべく出さない。
- 汚れた食器は、拭き取ってから洗う。
- ごみを出す時、レジ袋があるので、買い物袋は持って行かない。

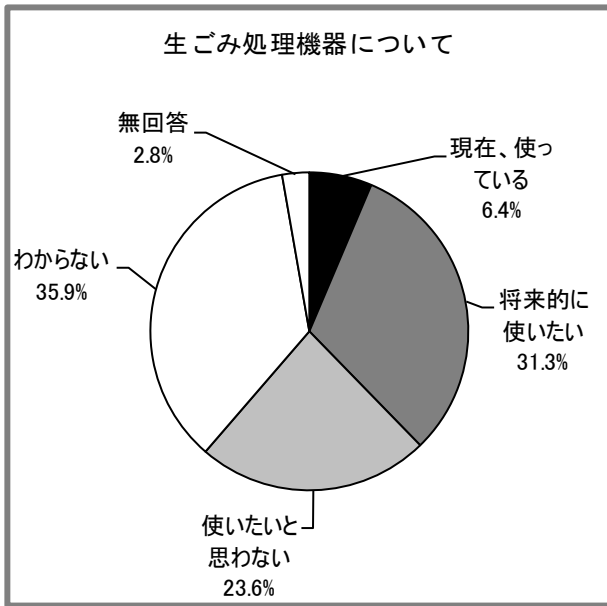
参考：流山市一般廃棄物処理基本計画策定時のアンケート（平成21年度実施）



クロス集計：集団回収及び店頭回収の居住地区別について

「資源化できるものは地域の集団回収に出している」「牛乳パック・トレイなどの店頭回収に協力している」において、居住地区との連関はみられません。

4) 生ごみ処理機器について



「わからない」が最も多く、「無回答」を合わせると4割近くあります。

次が「将来的に使用したい」ですが、「現在使っている」は1割未満となっています。

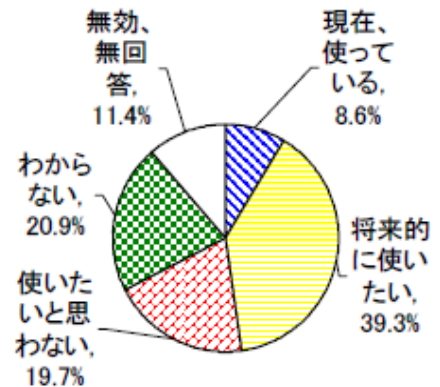
以前のアンケート（下記参照）と比較すると、実施や意欲が少なくなっています。

参考：流山市一般廃棄物処理基本計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

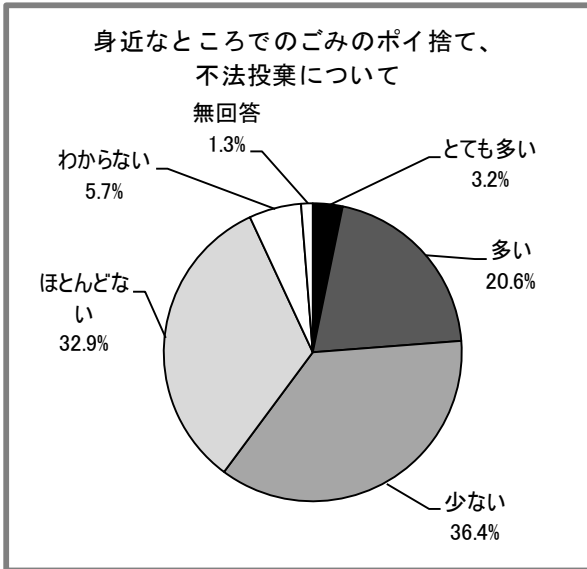
Q29. 生ごみ処理機器の利用についてお聞きます。

n=1,520

項目	人数	割合
現在、使っている	131	8.6%
将来的に使用したい	597	39.3%
使いたいと思わない	300	19.7%
わからない	318	20.9%
無効、無回答	174	11.4%
合計	1,520	100.0%



5) 身近なところに、ごみのポイ捨て、不法投棄がありますか。

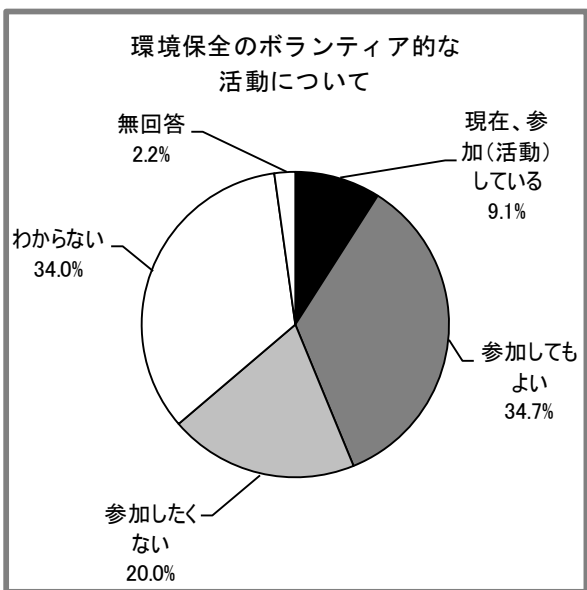


「少ない」が最も多く、次が「ほとんどない」で、合わせて約7割となっています。

クロス集計：居住地区別について

居住地区との連関はみられません。

6) 市内では清掃や資源回収を行うボランティア的な活動（団体）が行われていますが、それらの活動に参加しようと思いませんか



「参加してもよい」が最も多くなっていますが、「現在参加（活動）している」は1割未満となっています。

次が「わからない」で、「無回答」と合わせると最も多くなります。

以前のアンケート（下記参照）と比較すると、参加が少なくなっています。

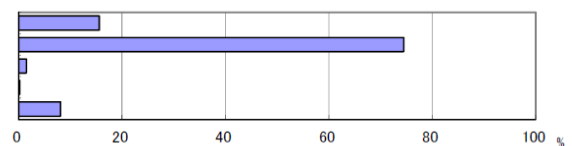
参考：まちづくり達成度アンケート（平成24年度実施）

問16 あなたの環境に対する美化意識・行動についてお聞きします

1. ごみを捨てることをせず、それ以外に自宅周辺やまちの掃除・美化活動等も行っている	205	( 15.6 )
2. ごみを路上や公園等に、絶対捨てない	978	( 74.5 )
3. ごみを路上や公園等に、たまたま捨ててしまう	20	( 1.5 )
4. ごみを路上や公園等に捨てることを気にしない	3	( 0.2 )
5. 無回答	107	( 8.1 )

合計

1313



クロス集計：年代別、居住地区別、居住年数別について

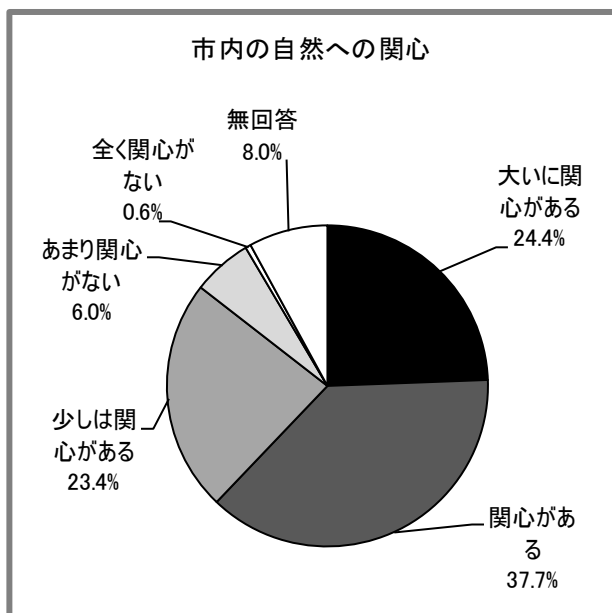
年代別 (p=0.013) では「30代」で、「現在、参加（活動）している」が少なく、「参加したくない」が多い反面、「参加してもよい」が多い傾向がみられます。

年代	現在、参加（活動）している	参加してもよい	参加したくない	わからない
30代	2%	41%	24%	33%
40代	11%	34%	24%	31%
50代	10%	38%	22%	30%
60代	10%	39%	17%	32%
70代以上	9%	29%	19%	38%

居住地区、居住年数との連関はみられません。

### 3 市内の緑や自然環境について

#### 1) 市内の自然に関心がありますか

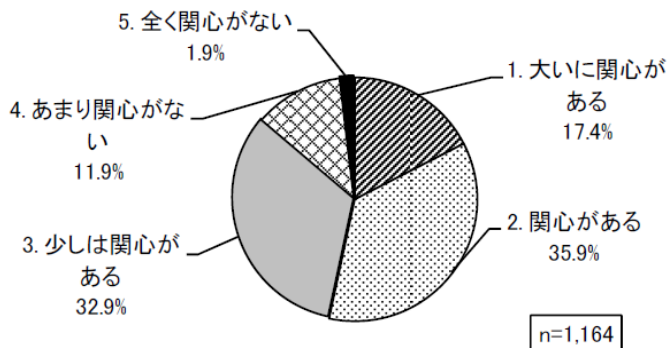


「関心がある」が最も多く、次は「大いに関心がある」「少しは関心がある」で、これらを合わせると全体の9割近くとなっています。

以前のアンケート（下記参照）と比較すると、「大いに関心がある」「少しは関心がある」のいずれも多くなっています。

参考：生物多様性ながれやま戦略策定時のアンケート（平成21年度実施）

植物・昆虫・野鳥など  
身近な自然への関心



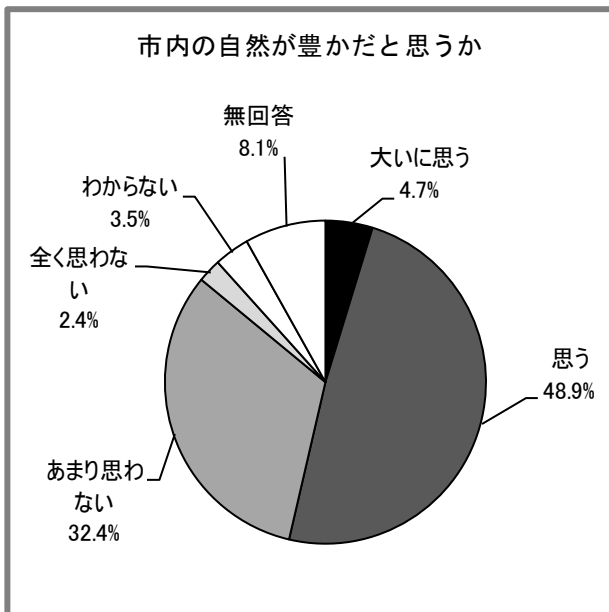
クロス集計：年代別、居住地区別、居住年数別について

年代別 (p=0.0000008) では、「60代」で「大いに興味がある」が、「70代以上」で「興味がある」が多い傾向がみられます。「40代」では「大いに興味がある」「興味がある」が少ない傾向がみられます。

年代	大いに興味がある	興味がある	少しは興味がある
30代	24%	36%	29%
40代	19%	34%	32%
50代	20%	43%	26%
60代	34%	33%	21%
70代以上	25%	44%	17%

居住地区、居住年数との連関はみられません。

2) 市内の自然やいきものが豊かだと思えますか



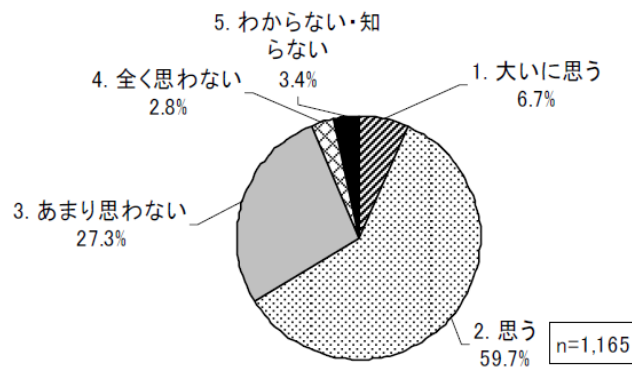
「思う」が最も多く、「大いに思う」と合わせると5割を超えています。

次は「あまり思わない」となっています。

以前のアンケート(下記参照)と比較すると、「大いに思う」「思う」のいずれも少なくなっています。

参考：生物多様性ながれやま戦略策定時のアンケート（平成21年度実施）

本市の自然や生き物の豊かさ



## クロス集計：年代別、居住地区別、居住年数別について

年代、居住地区、居住年数との連関はみられません。

## 3) 市内の自然環境として、将来に残したい場所があれば、自由に記載してください

最も多いのは「市野谷、おおたかの森、流山おおたかの森駅周辺」で、次が「利根運河」「新川耕地」「江戸川」「流山総合運動公園」となっています。

以前のアンケート（次次頁参照）と比較すると、「おおたかの森」の多さが目立ち、順位も違ってきます。

場所	件数
市野谷、おおたかの森、流山おおたかの森駅周辺	82
利根運河	41
新川耕地	20
江戸川	20
流山市総合運動公園	18
公園、散策路、子どもの遊べる自然等（不特定）	16
西初石もしくは芝崎の小鳥の森（区別のない記載が多い）、西初石の自然	11
大堀川	10
野馬土手	9
三本松古墳、古墳	9
流山セントラルパーク駅周辺	7
野々下もしくは運河水辺公園（区別のない記載が多い）、野々下	6
森の図書館、東深井	6
思井	6
オオタカ、サギ、キジ等野鳥の生息地	6
ホタル、メダカ等の水生生物の生息地	6
ふるさとの森公園、松ヶ丘	5
斜面林（不特定）	4
社寺林（不特定）	4
赤城神社	4
坂川	3
街路樹（不特定）	2
愛宕ふれあい公園、ふれあい公園	2
大宮神社	2
諏訪神社	2
八坂神社	2
あじさい通り	2
東部地区の湧水、湧水（不特定）	2
現存する自然（不特定の緑や水辺等）を守りたい、自然を回復させたい等の意見	115

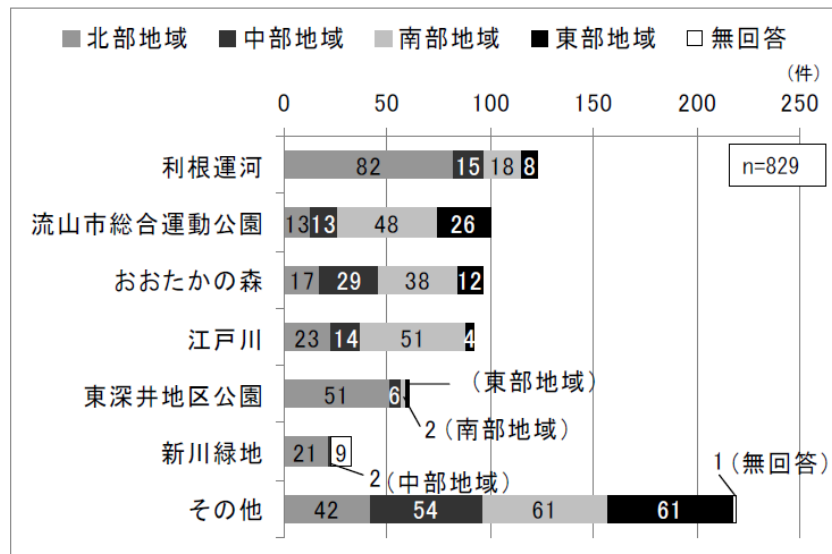
## 各1件の記載があった場所

ボーイスカウトの森	におどり公園	東深井地区公園
高速道路上の公園	東部近隣公園	柏の葉公園
第5号公園	松ヶ丘2号散策の森	松ヶ丘3号散策の森
前ヶ崎キャンプ場	熊野神社	東福寺
北部地区	桐ヶ谷	駒木
古間木	上新宿	流山本町の街並み
軽井沢通り	旧日光街道	中交差点近辺からの富士山の景色
流山市生涯学習センター	市役所近辺	市役所横の駐車場
大畔から西初石のコミュニティプラザと浄水場付近	思井の森から芝崎の斜面緑地	長崎小学校あたりから運動公園周辺にかけての森林
美田団地隣の冒険の森	北部中学校の森	向小金小学校裏の通称トトロの森
西深井工業団地横の埋立地	セントラルパーク駅から南流山駅間の山林	鱒ヶ崎周辺の林
新川小学校近くの竹林	初石公民館近くの森	長崎小、八木中周辺の林
名都借の田んぼ	ホテル野の田んぼ	西初石小学校裏のコミュニティのあたりの沼
調整池	江戸川左岸、今上おとし	江戸川沿いの田園風景
運河の東京理科大側の桜堤	消防署前の自然	清掃工場敷地内の自然環境
一茶双樹記念館やアトリエ黎明のあたりの自然	運動公園から富士見橋北側にかけての自然	流山免許センター近辺や、その奥の昔からある自然

参考：生物多様性ながれやま戦略策定時のアンケート（平成21年度実施）

将来残したい、自然環境が

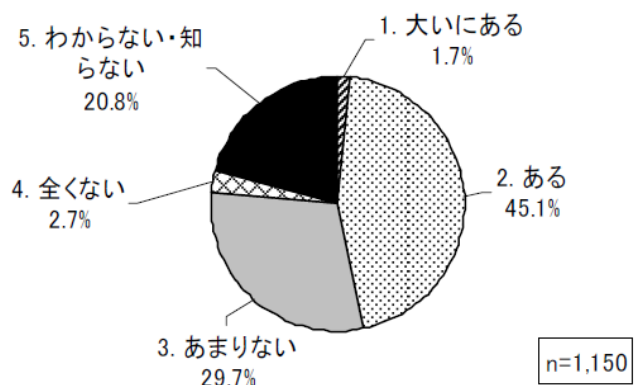
地域別



その他の回答（主なもの）

東部近隣公園 10 件、三輪野山 8 件、松ヶ丘 9 件、小鳥の森 8 件、駒木ふるさとの森 7 件、坂川 7 件、思井・鱒ヶ崎 7 件、大堀川 7 件、名都借 7 件、野々下水辺公園 5 件、流山インター 5 件、におどり公園 4 件、十太夫 4、大宮神社 4、三本松 2、柏の葉公園（柏市）10 件、清水公園（野田市）2 件

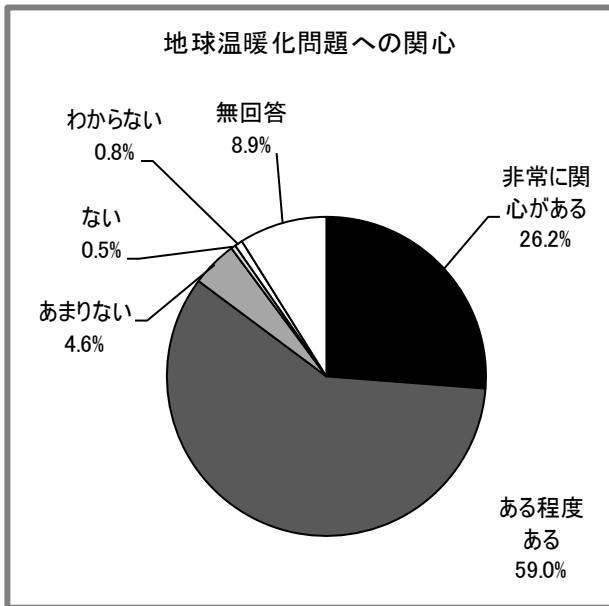
市内で自然環境が豊かな場所の有無





## 4 地球温暖化問題について

### 1) 地球温暖化問題に関心がありますか

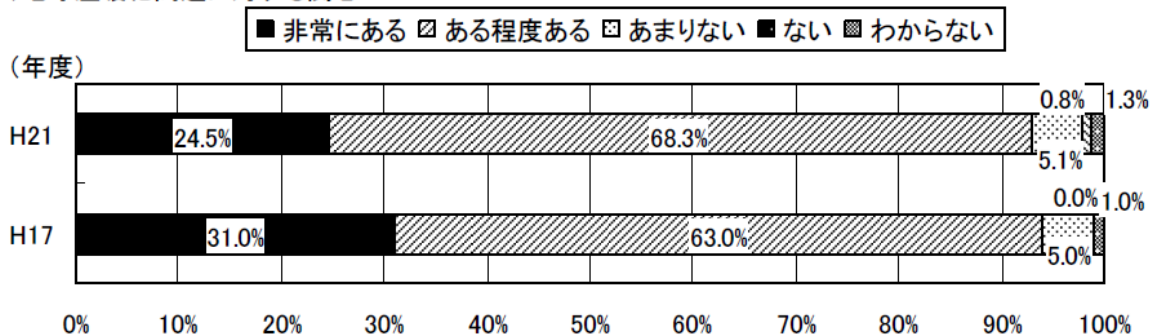


「ある程度ある」が最も多く、次が「非常に興味がある」で、合わせると全体の9割近くとなっています。

以前のアンケート（下記参照）と比較すると、「非常に興味がある」は多くなっていますが、「非常に興味がある」「ある程度ある」を合わせた場合は少なくなっています。

参考：流山市地球温暖化対策実行計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

#### (1)地球温暖化問題に対する関心



#### クロス集計：年代別、職業別について

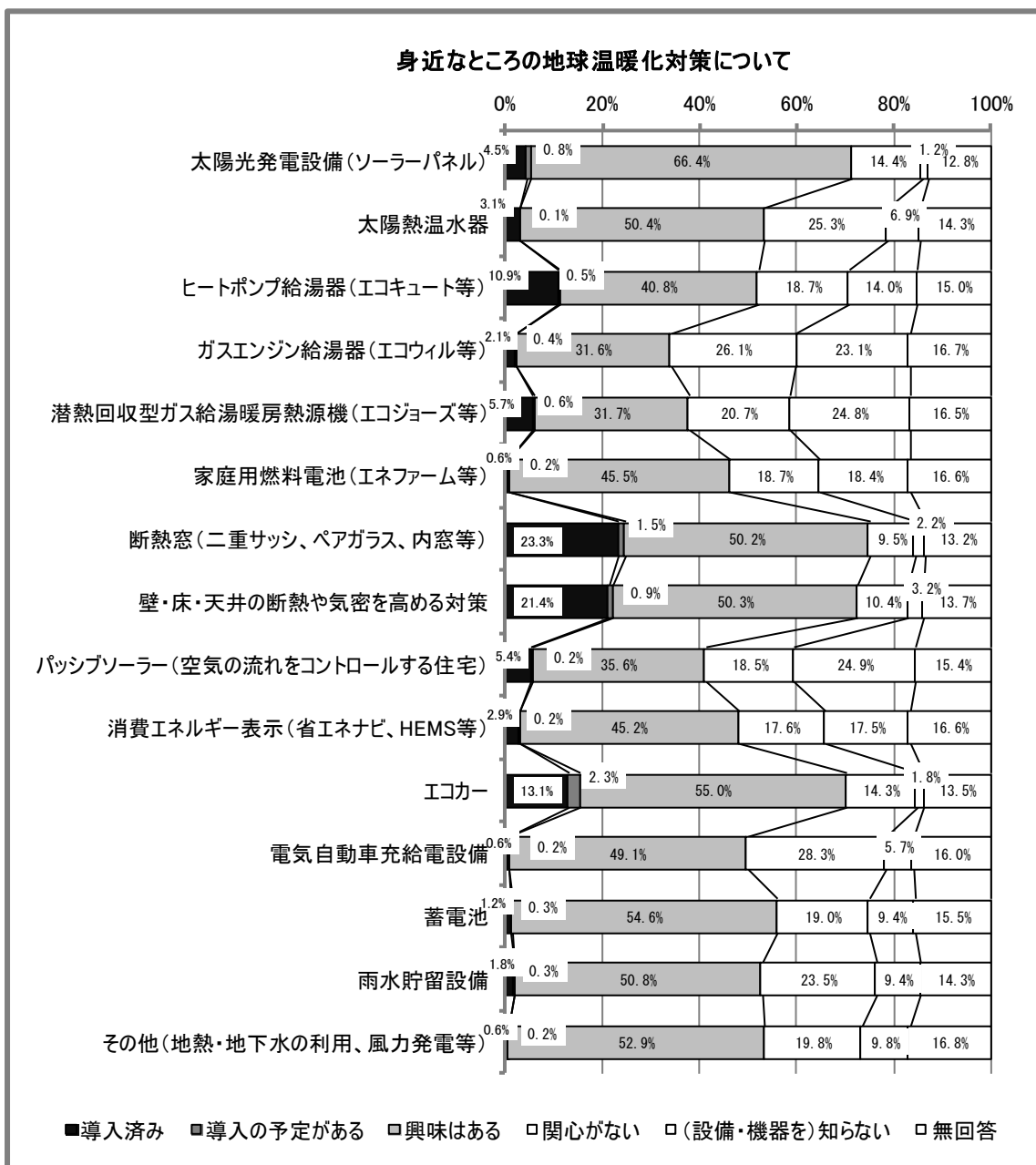
年代別（ $p=0.000002$ ）では、「60代」で「非常に興味がある」「ある程度ある」がともに、「70代以上」で「非常に興味がある」が多い傾向がみられます。

年代	非常に興味がある	ある程度ある
30代	19%	71%
40代	21%	62%
50代	18%	68%
60代	32%	57%
70代以上	34%	50%

職業別（ $p=0.0003$ ）では「パート・アルバイト」で、「非常に興味がある」が少ない反面、「ある程度ある」が多い傾向がみられます。

職業	非常に興味がある	ある程度ある
会社員	25%	59%
パート・アルバイト	14%	70%
家事専業	27%	61%

2) 省エネルギーやクリーンエネルギー化につながる設備・機器について、あなたのご家庭の状況にあてはまるものを選んでください



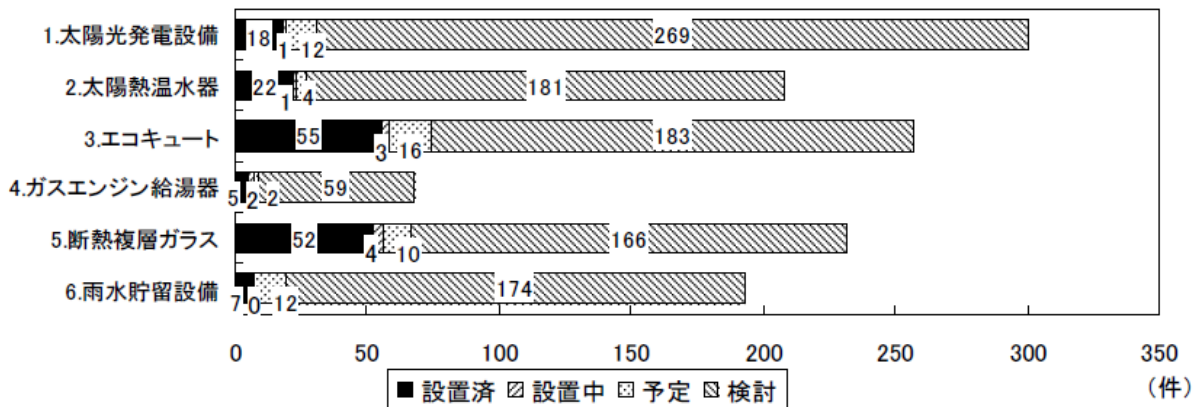
「導入済み」について多いのは、「断熱窓（二重サッシ、ペアガラス、内窓等）」「壁・床・天井の断熱や気密を高める対策」ですが、いずれも2割です。次が「エコカー」となっています。これらでは、「導入済み」「導入の予定がある」「興味はある」を合わせると6割を超えています。

全体的に「興味はある」が多い傾向にあります。最も多いのが「太陽光発電設備（ソーラーパネル）」で、「導入済み」「導入の予定がある」「興味はある」を合わせると6割を超えています。

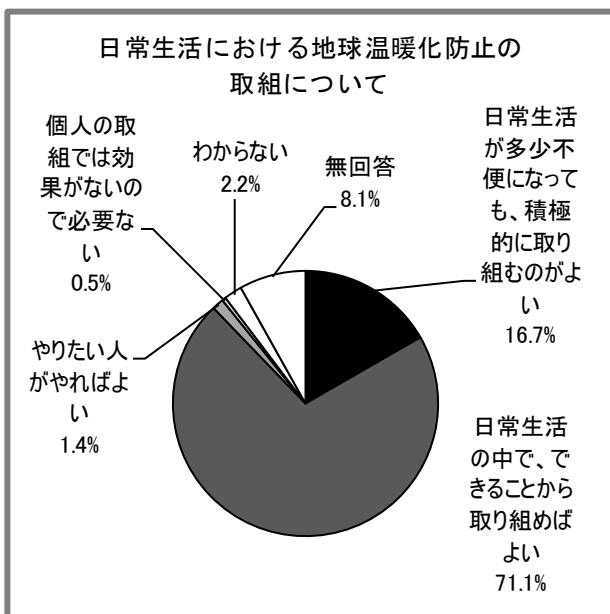
以前のアンケート（次頁参照）と比較すると、いずれの項目も導入済みが多くなっています。（パーセントに換算して比較）

参考：流山市地球温暖化対策実行計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

地球にやさしい住宅設備のうち、どの機種を設置または検討していますか（n=1,180）



3) 日常生活における地球温暖化防止の取組について

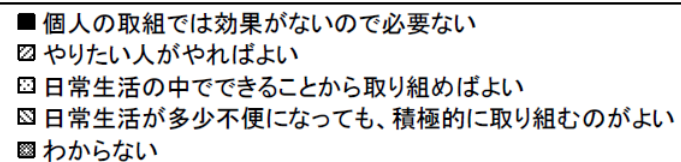


「日常生活の中で、できることから取り組めばよい」が最も多く、次が「日常生活が多少不便になっても、積極的に取り組むのがよい」です。これらを合わせると、全体の9割近くとなっています。

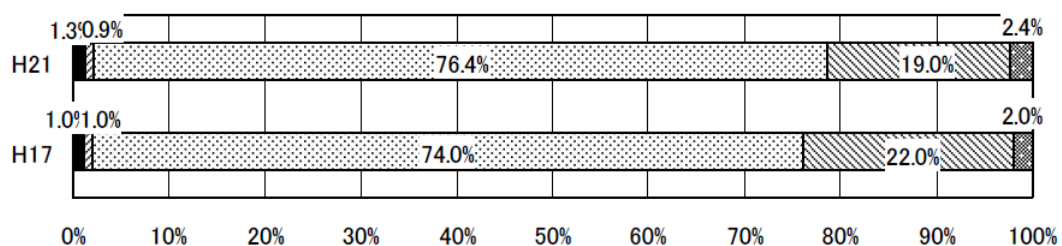
以前のアンケート（次頁参照）と比較すると、「日常生活の中で、できることから取り組めばよい」「日常生活が多少不便になっても、積極的に取り組むのがよい」のいずれも、少なくなっています。

参考：流山市地球温暖化対策実行計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

(2)日常生活の取組



(年度)



クロス集計：年代別、職業別について

年代別 (p=0.0009) では、「60代」「70代以上」で「日常生活が多少不便になっても、積極的に取り組むのがよい」が多く、「30代」で「日常生活の中で、できることから取り組めばよい」が多い傾向がみられます。

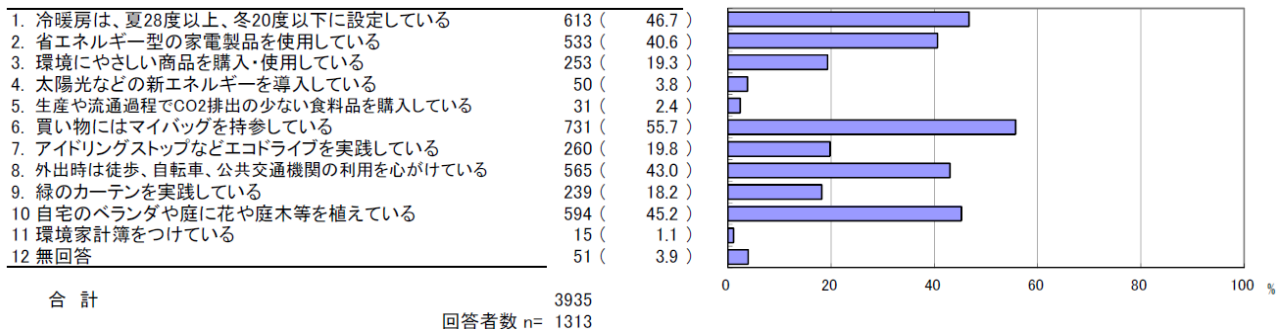
年代	日常生活が多少不便になっても、積極的に取り組むのがよい	日常生活の中で、できることから取り組めばよい
30代	11%	83%
40代	16%	75%
50代	16%	74%
60代	21%	67%
70代以上	18%	65%

職業別 (p=0.0009) では「会社員」「パート・アルバイト」で、「日常生活の中で、できることから取り組めばよい」が多い傾向がみられます。

職業	日常生活が多少不便になっても、積極的に取り組むのがよい	日常生活の中で、できることから取り組めばよい
会社員	13%	77%
パート・アルバイト	14%	76%
家事専業	16%	72%

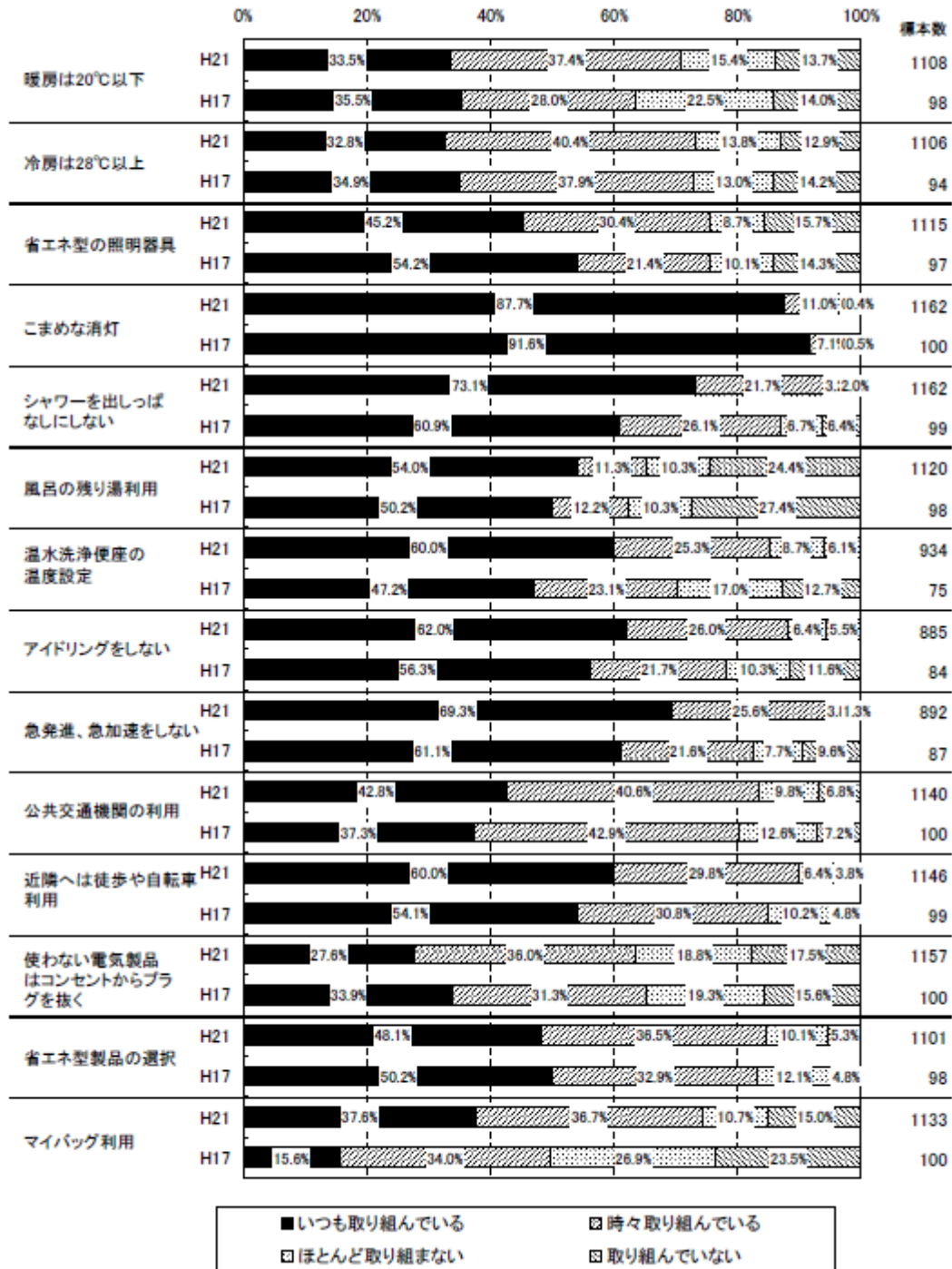
参考：まちづくり達成度アンケート（平成24年度実施）

問15 あなたは地球温暖化対策のためにどのようなことに取り組んでいますか（選択数に制限なし）



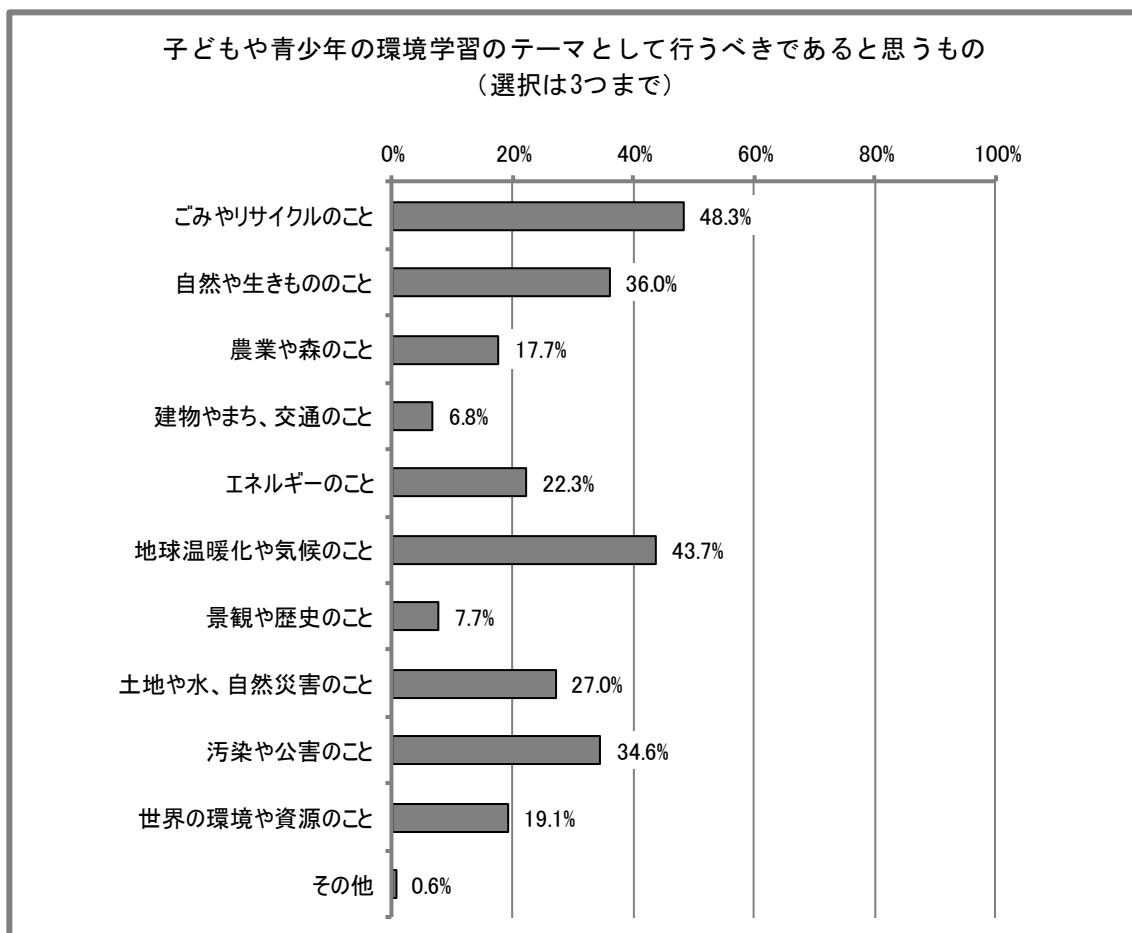
参考：流山市地球温暖化対策実行計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

省エネルギー行動にどの程度取り組んでいますか。



## 5 環境学習や地域環境について

- 1) 子どもや青少年の環境学習のテーマとして、行うべきであると思うものを選んでください（選択は3つまで）

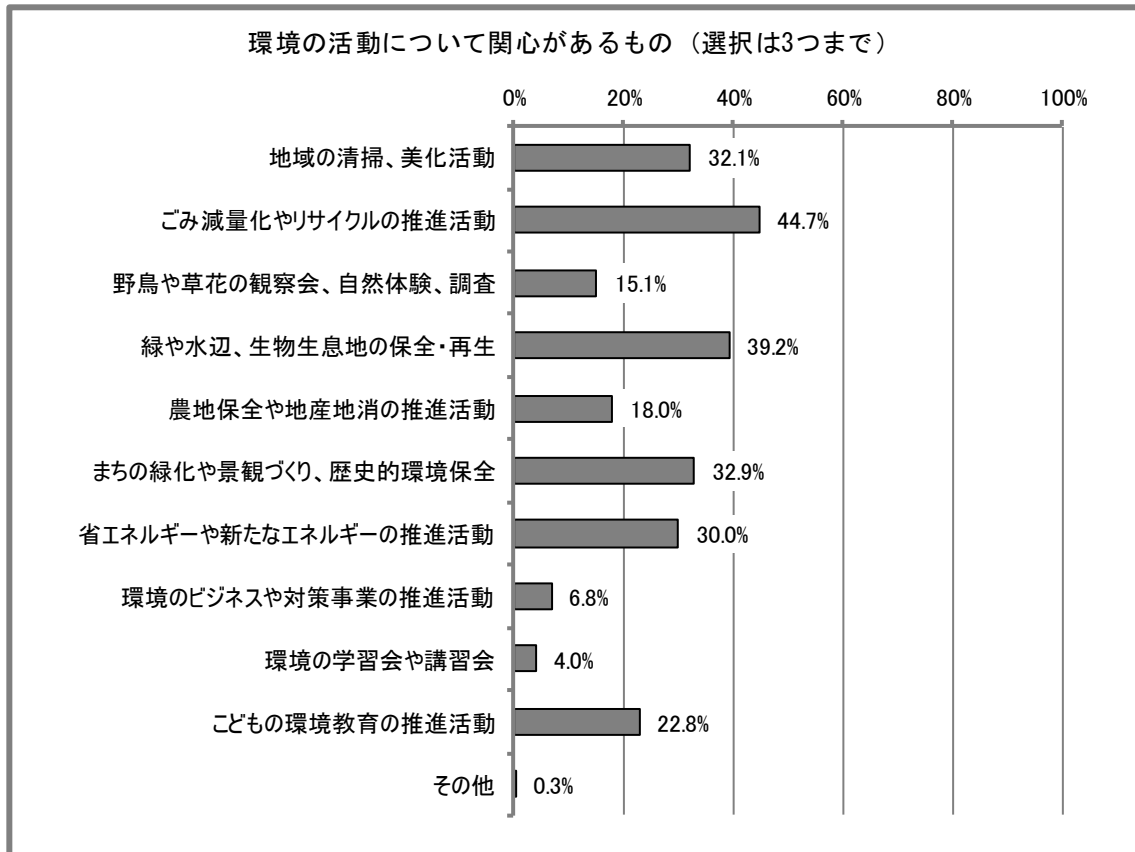


「ごみやリサイクルのこと」が最も多く、約5割となっています。次が「地球温暖化や気候のこと」「自然や生きもののこと」「汚染や公害のこと」となっています。

### 【その他】

- 全てを充実させる。(5件)
- 原子力、放射能について。(3件)
- 身近なこと。(2件)。
- 食育について、食べ物の命を粗末にしないように教わること。
- 森と海の関係。
- 景観
- 宇宙との関わり。(オゾン層や紫外線など)。
- 法律。
- ポイ捨てや不法投棄が、本質的に出来ない大人になれるような学習をして欲しい。
- イヌの散歩の最小限ルールを、飼い主に教えること。
- ペットといわれる動物たちのこと(捨てる、虐待等)、毛皮問題などの動物のこと。

## 2) 環境の活動について、あなたの関心があるものを選んでください（選択は3つまで）



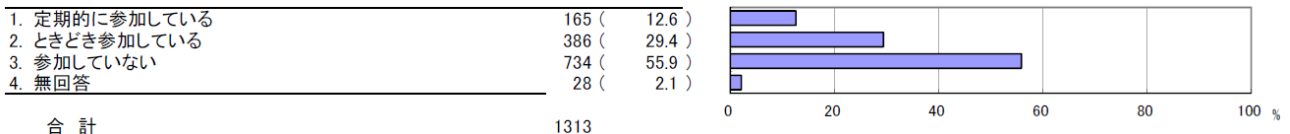
「ごみ減量化やリサイクルの推進活動」が最も多く、約5割となっています。次が「緑や水辺、生物生息地の保全・再生」「地域の清掃、美化活動」「省エネルギーや新たなエネルギーの推進活動」となっています。

## 【その他】

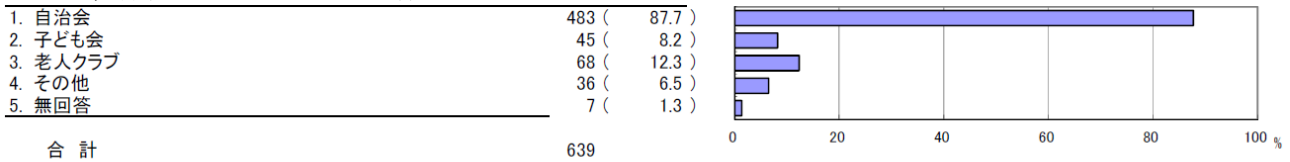
- 今の危険を表示して欲しい。
- 将来の自然環境を考えれば、子どもへの教育と思う。
- おおたかの街に力を入れてるが、中心街はゴーストタウンである。
- SNSを使って、市民が意見を出し合ったり、情報の交換をする。
- 落葉等の危険ごみ処理はいつまで続くのですか。処理場がパンクします。
- 家庭から出る残土、ブロックの処理の問題。処分する方法がなく、空き地に捨てる人がいる。

参考：まちづくり達成度アンケート（平成24年度実施）

問29 あなたは、自治会や子ども会、老人クラブ等の地域活動にどの程度参加していますか

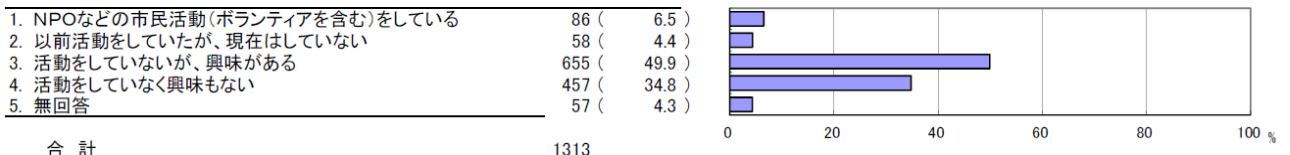


⇒地域活動に参加している内容

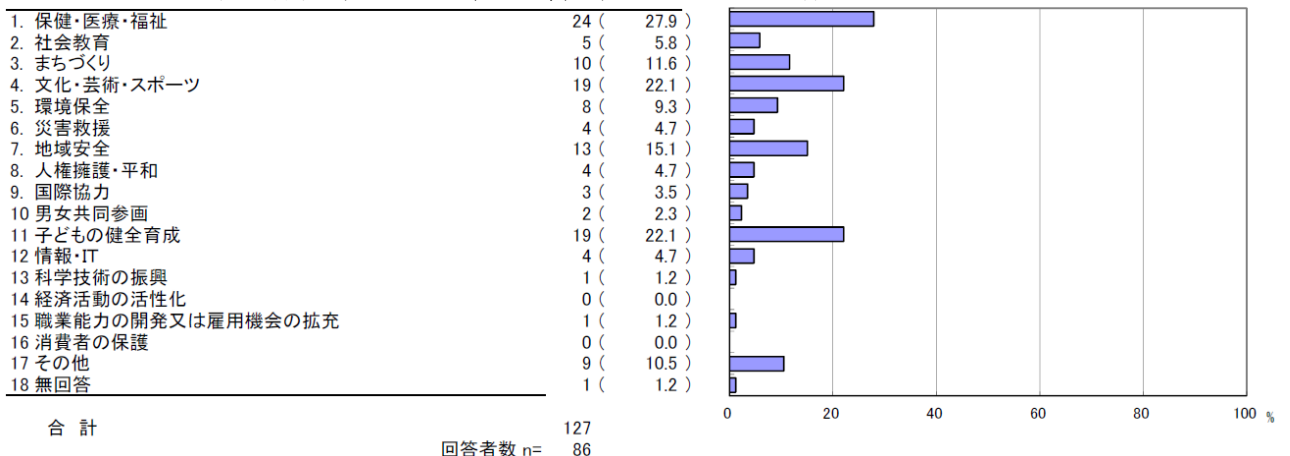


回答者数 n= 636

問31 あなたは、NPOなどの市民活動（ボランティアを含む）を行っていますか

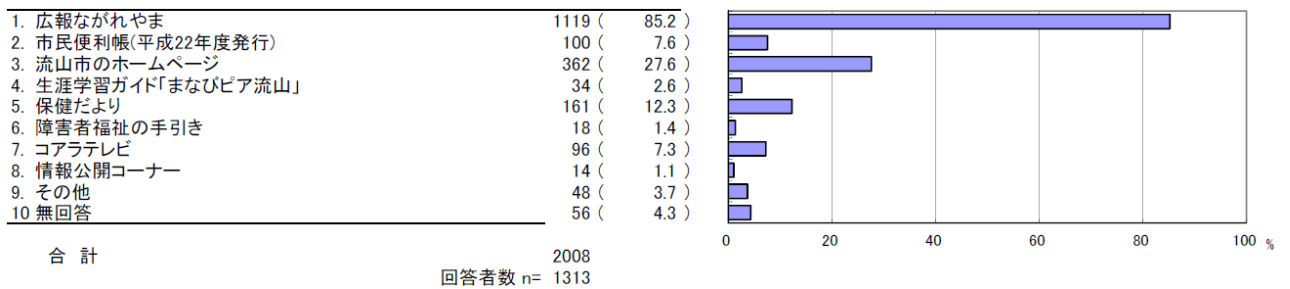


⇒NPOなどの市民活動（ボランティアを含む）をしている内容



回答者数 n= 86

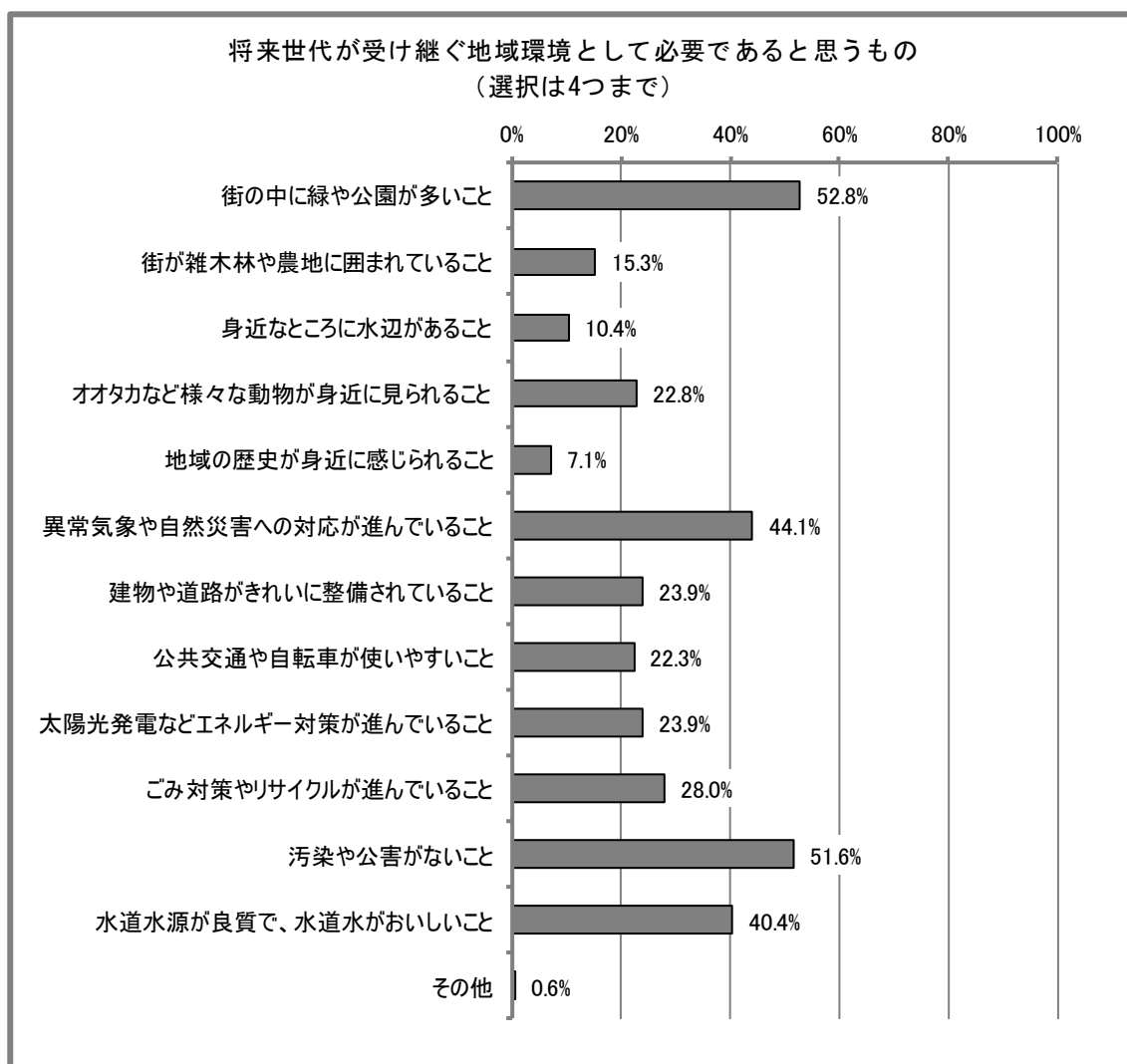
問40 あなたは、市の情報をどのようにして知りますか（選択数に制限なし）



回答者数 n= 1313



3) 将来世代が受け継ぐ地域環境として、必要であると思うものを選んでください（選択は4つまで）



「街の中に緑や公園が多いこと」「汚染や公害がないこと」が最も多く、これらは5割を超えています。次が「異常気象や自然災害への対応が進んでいること」「水道水源が良質で、水道水がおいしいこと」となっています。

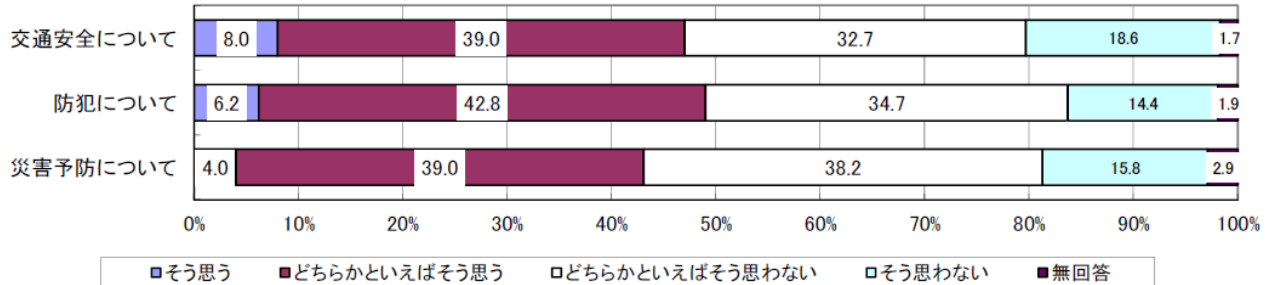
【その他】

- 原発のない環境（2件）
- 歩行者、通学、乳母車等が安全で安心な道路、交通安全（3件）。
- マイカーを少なくするため、バスの便を増やして欲しい。
- 自然は守っていきたいです。
- 地域の子どもへの教育。
- 緑、公園、人が集えるところ。（3件）。
- 時々昔の生活を思い起こしています。多少不便でも不自由でもいいのではと思います。
- 自動車なしで、自転車しかない。
- 放射性物質の除染作業の強化。
- 子育てに対する様々な補助があること。

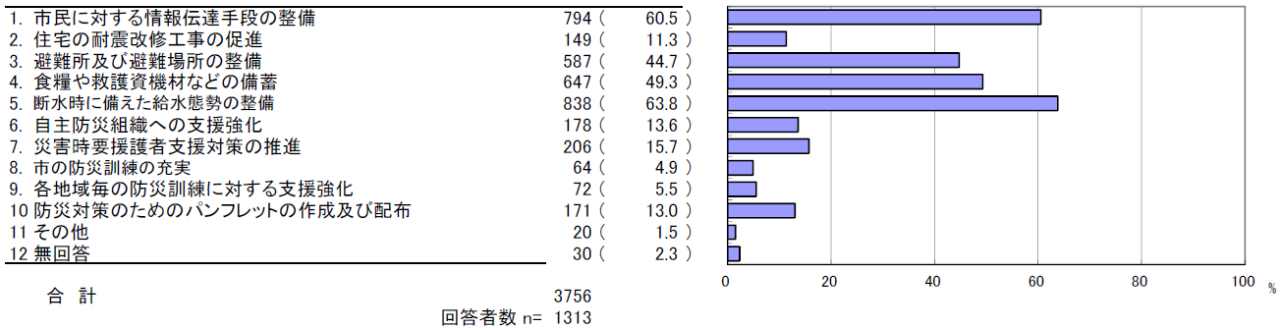
- カルキ臭くない水道。
- 公共施設での太陽光利用。

参考：まちづくり達成度アンケート（平成24年度実施）

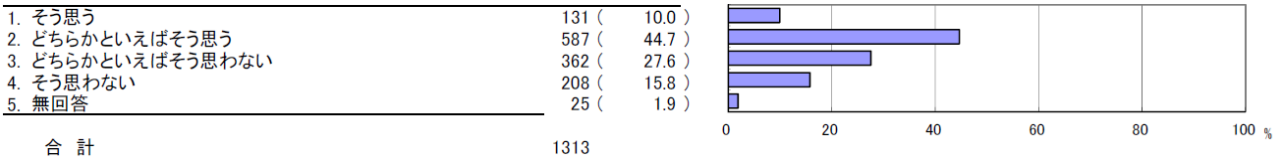
問11 あなたの自宅周辺は、次の内容について安全だと思いますか。



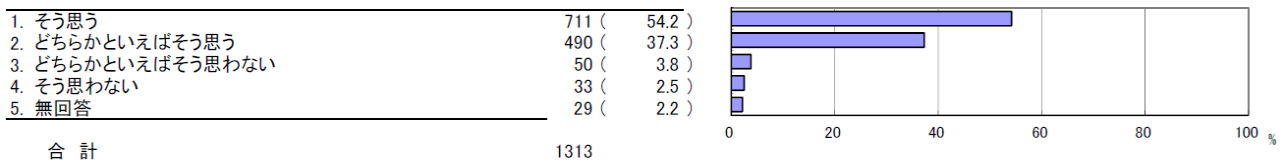
問13 あなたは、市が推進すべき防災対策はどのようなことだと考えますか（3つまで選択）



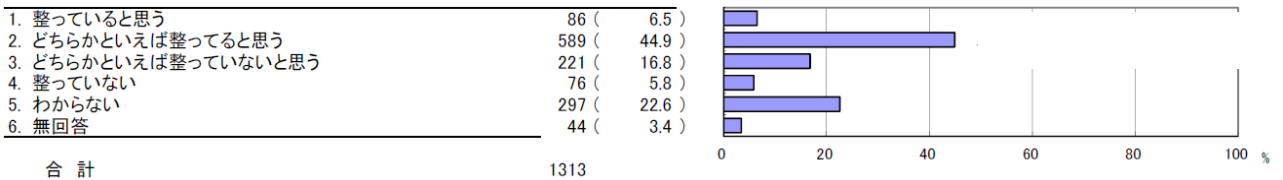
問20 あなたは、自宅周辺の景観を誇りに思いますか



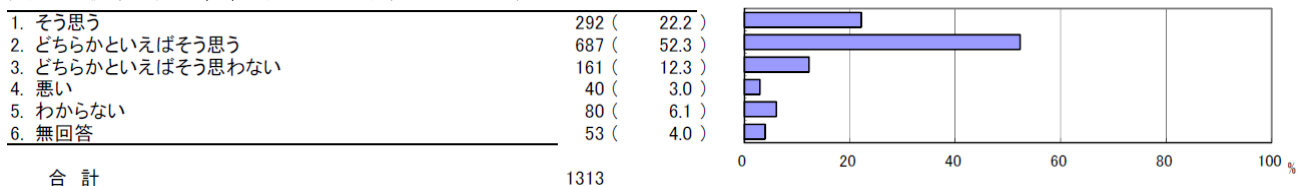
問21 あなたは、自宅周辺の景観を良くしたいと思いますか



問22 流山市内は、子どもたちが健やかに育つ環境が整っていると思いますか

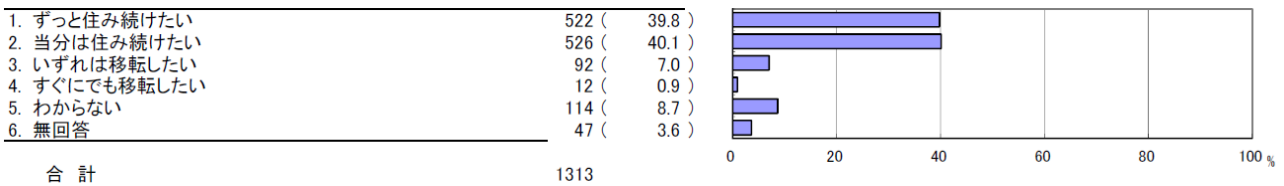


問45 流山市は、住み心地が良いまちですか

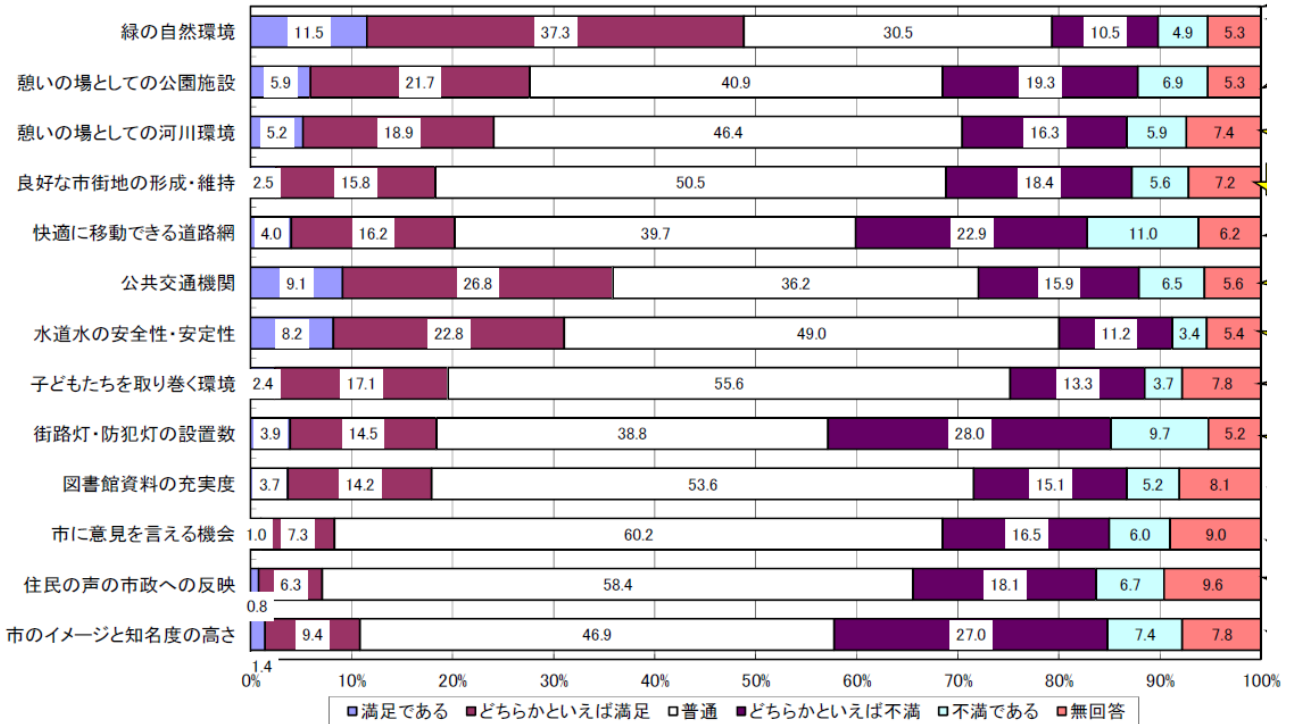


参考：まちづくり達成度アンケート（平成24年度実施）

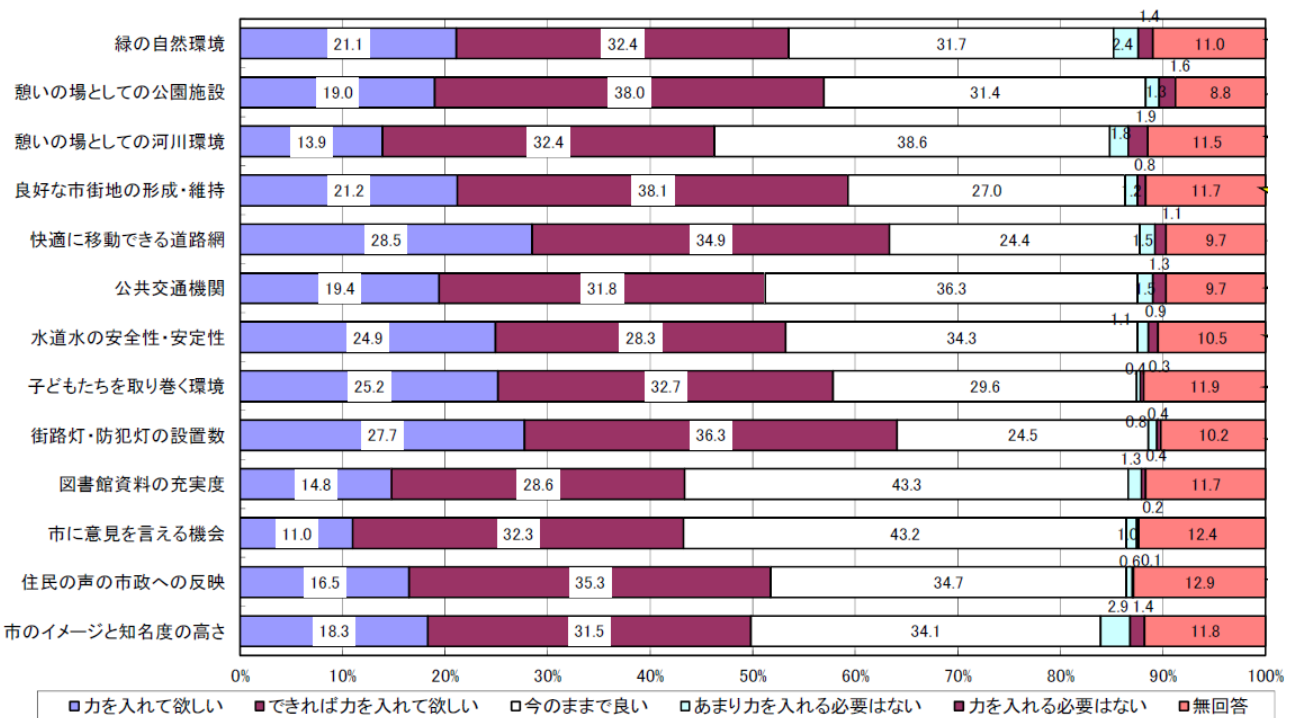
問46 あなたはこれからも流山市に住みつづけたいですか



問47 現在の住環境やサービスにどの程度満足していますか

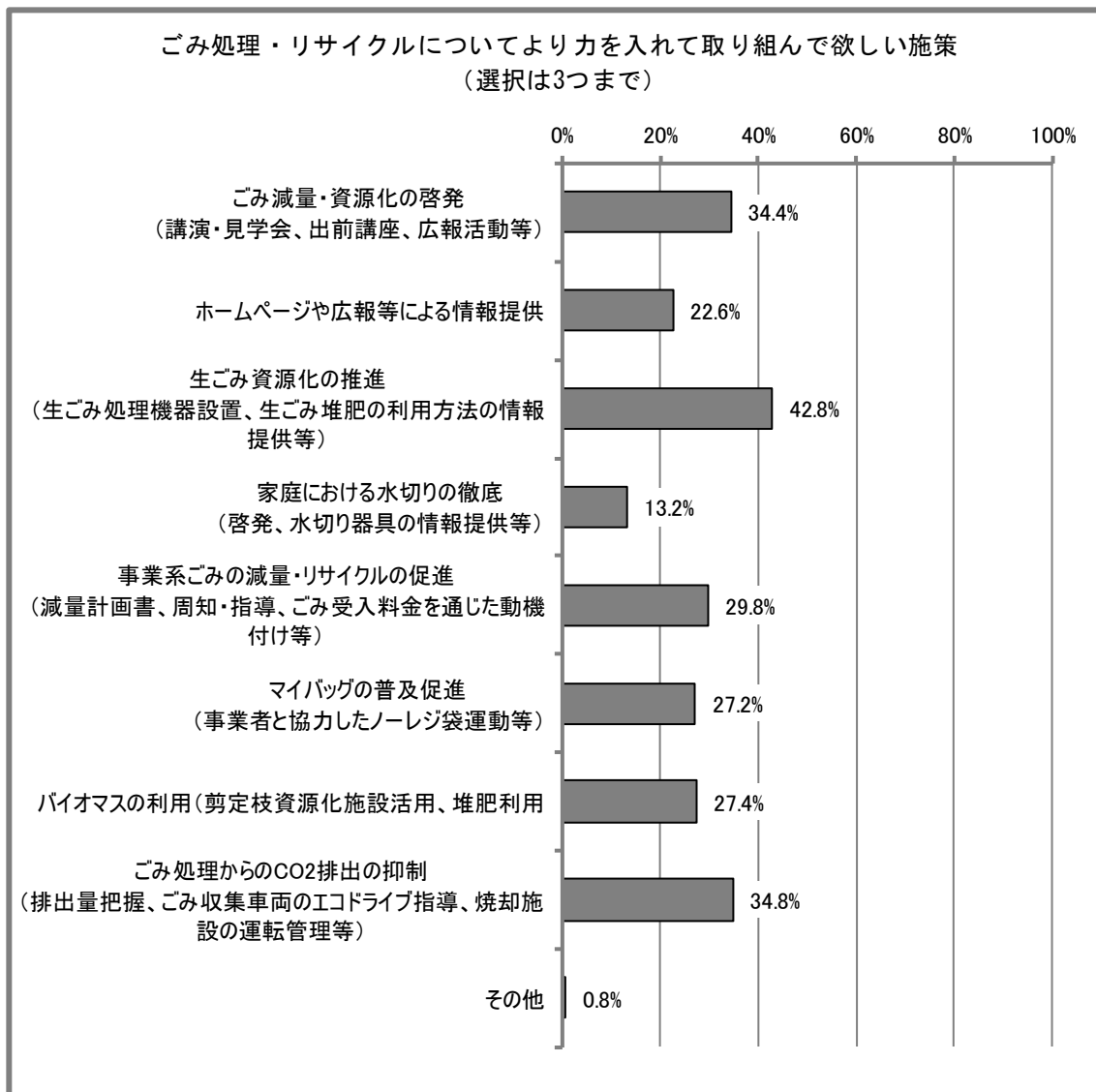


問47 今後どのくらい力を入れたら良いと思いますか



## 6 市の重点的取組について

- 1) 次の8項目は「流山市一般廃棄物処理基本計画」の重点施策ですが、ごみ処理・リサイクルについて、より力を入れて取り組んで欲しい市の施策を選んでください（選択は3つまで）



「生ごみ資源化の推進（生ごみ処理機器設置、生ごみ堆肥の利用方法の情報提供等）」が最も多く、4割を超えています。次が「ごみ処理からのCO<sub>2</sub>排出の抑制（排出量把握、ごみ収集車両等のエコドライブ指導、焼却施設の運転管理等）」「ごみ減量・資源化の啓発（講演・見学会、出前講座、広報活動等）」となっています。

### 【その他】

（レジ袋、マイバッグ関連）

- 流山市はレジ袋でごみが出せるので、必要分をもらう。
- 他市では、マイバッグを使用すると共通のシールがもらえ、たまるとどこのお店でも100円割引になります。
- マイバッグ推進なら市で紙袋等を指定して欲しい。レジで断ってもビニール袋は買うことになる。
- マイバッグを使用しなくなったときに、余る材料はどう利用するのか。

- レジ袋を単なるごみとして出すよりごみ袋に活かすのは良い。市販のごみ袋を使う必要はない。
- マイバッグを利用しているが、別にごみ袋を購入している。それでも減量に役立つのか。

(迷惑行為関連)

- 散歩などで、トングを持ってごみを拾って歩きたいと考えているが、そのごみの処理は自宅処理ではなく、市の施策として考えて欲しい。
- ポイ捨てが多いので、取り締まって欲しい。
- 家庭より事業所のごみ分別が不徹底に感じます。
- 産業廃棄物を集積所に排出する事業者、たき火をする事業者が存在する。ルール周知徹底を。
- 廃棄物不法投棄の取り締まり強化を。
- 定期的な排水溝の掃除を復活して欲しい。
- ごみ分別は、市の指導を徹底すれば出来る。

(収集処理関連)

- 船橋市のように、プラスチックでも可燃になるようなごみ処理施設を造って欲しいです。
- エコセンターに運んでいる落ち葉や枝はいつ終わるのですか。私の家は近いので、臭います。肥料の臭いを一日も早く止めて欲しい。
- 最終処分を市内で完結させること。
- ごみ箱設置ルールが厳しく、近くにないので、毎日つらい。人が増えればごみも増えるのに、対策がされていない。
- ごみ処理なら、包装の簡略化、生鮮品のトレーを省く等、リサイクルなら服とか他国で必要な所に送るための回収を、各地で催すとか。
- 市で生ごみの回収をして堆肥にして欲しい。
- 家庭の天ぷら油の処理に困る。市で回収して、石けんにして売ってくれれば買うのですが。
- 不用品交換、売買の仕組み作り。
- エコキュート等購入時の補助金制度をやって欲しい。
- 生ごみ処理機器設置のための補助金。
- 焼却エネルギー施設の発送の転換。
- ごみ焼却場の二酸化炭素排出の抑制、重油燃料の天然ガスへの転換。
- 焼却施設の現状を知らせ、放射能の処理も出来るように対応して欲しい。

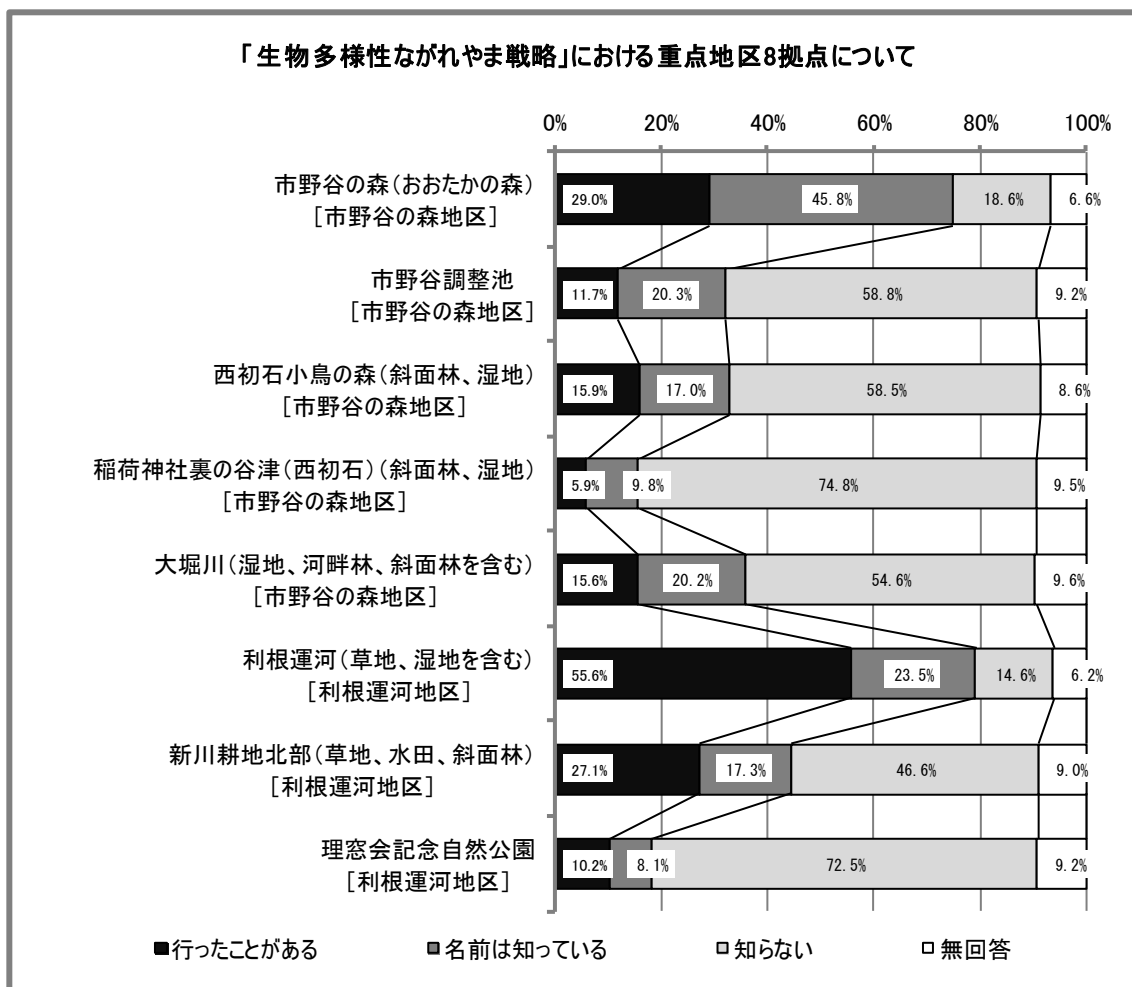
(啓発関連)

- 啓発から実行へ。
- 取組のコストと成果の公表。
- 小学校など、幼児期よりリサイクルの大切さを教える。
- 具体的な取組とその成果を、広報などで周知し、市内全域へ広げる活動。

(その他)

- お金がかからないこと。
- ごみ屋さんの労働条件の改善。

2) 「生物多様性ながれやま戦略」における重点地区（市野谷の森地区、利根運河地区）の8拠点について、あてはまるものを選んでください



「行ったことがある」について、「利根運河（草地、湿地を含む）」が最も多く、5割を超えています。次が「市野谷（おおたかの森）」「新川耕地北部（草地、水田、斜面林）」となっています。

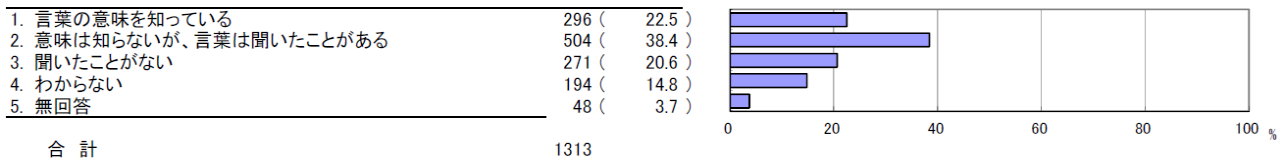
「名前は知っている」について、最も多いのは「市野谷（おおたかの森）」です。

「利根運河（草地、湿地を含む）」「市野谷（おおたかの森）」では、「行ったことがある」「名前は知っている」を合わせると7割を超えています。一方、他のところでは「知らない」が多くなっています。

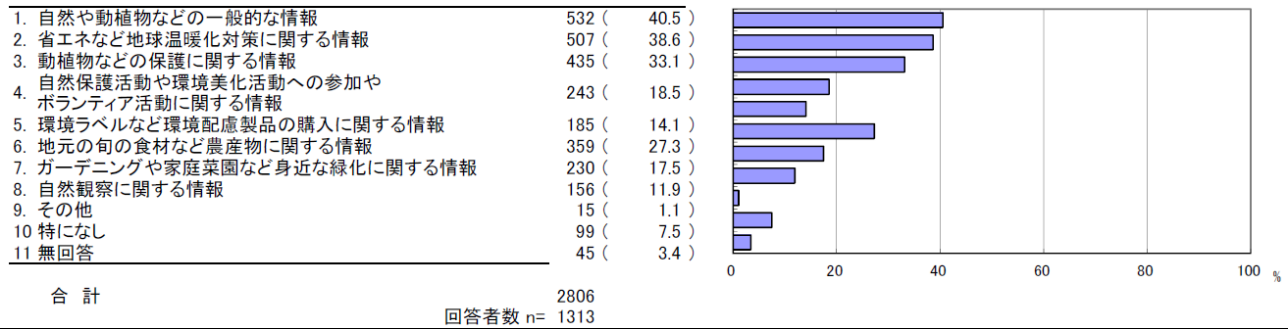
「生物多様性」の認知については、以前のアンケート（次頁参照）にみることができます。平成21年度では「知っている」が34.8%でしたが、平成24年度では、「言葉の意味を知っている」「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」を合わせると約6割となっています。

参考：まちづくり達成度アンケート（平成24年度実施）

問17 あなたは「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。

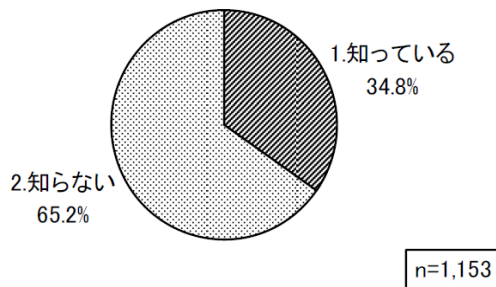


問18 あなたは、自然環境や生き物のことを考え、行動していく際にはどんな情報が必要だと思いますか。（選択数に制限なし）

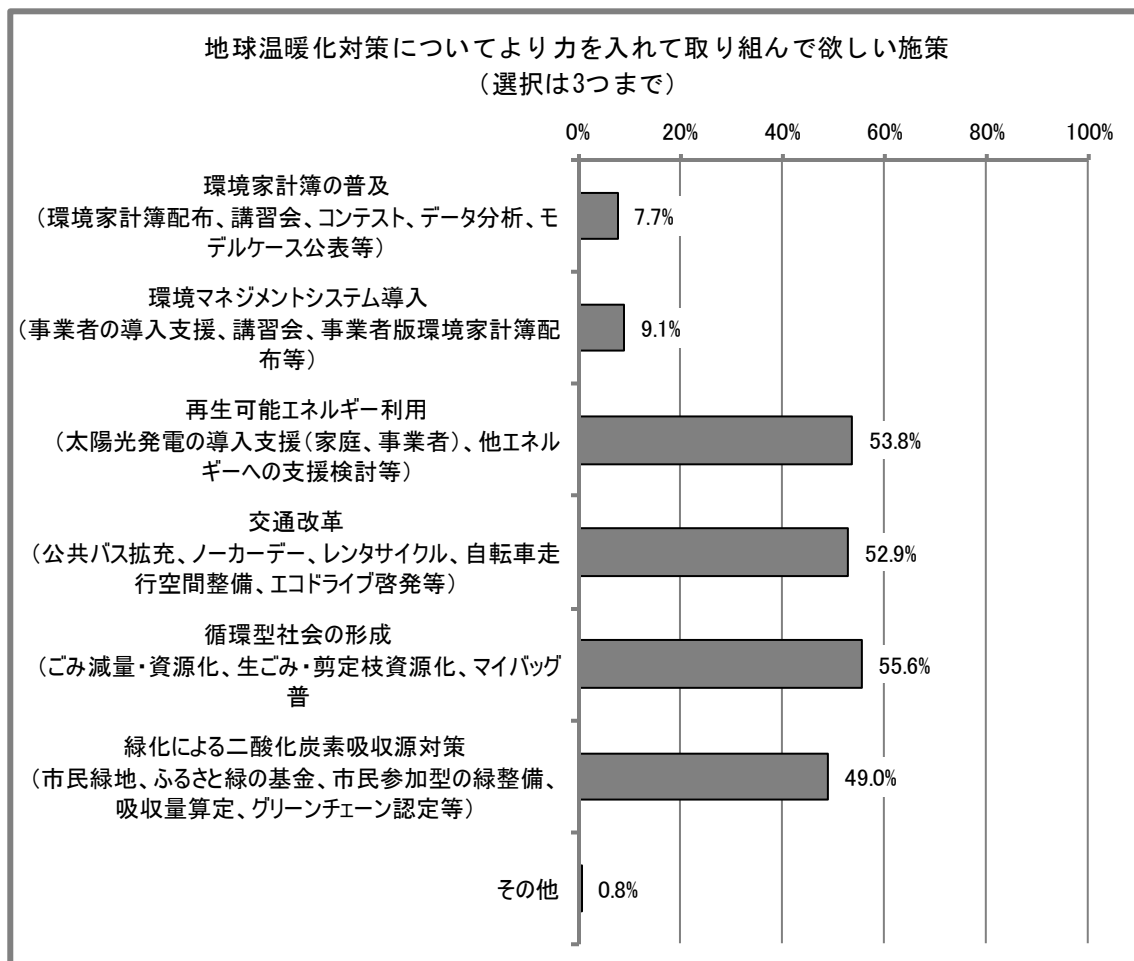


参考：生物多様性ながれやま戦略策定時のアンケート（平成21年度実施）

生物多様性の認知度



- 3) 次の6項目は「流山市地球温暖化対策実行計画」の重点プロジェクトですが、地球温暖化対策について、より力を入れて取り組んで欲しい市の施策を選んでください（選択は3つまで）



「循環型社会の形成（ごみ減量・資源化、生ごみ・剪定枝資源化、マイバッグ普及、事業系ごみ減量等）」が最も多く、5割を超えています。

次が「再生可能エネルギー利用（太陽光発電の導入支援（家庭、事業者）、他エネルギーへの支援検討等）」「交通改革（公共バス拡充、ノーカーデー、レンタサイクル、自転車走行空間整備、エコドライブ啓発等）」「緑化による二酸化炭素吸収源対策（市民緑地、ふるさと緑の基金、市民参加型の緑整備、吸収量算定、グリーンチェーン認定等）」で、いずれも約5割となっています。

#### 【その他】

- 工事地域が多く、環境以前のことがあるのではないか。
- 不在地の雑草除去
- 今の土や水の検査に力を入れ健康を守ること。
- 放射能処理への対応策。
- 地球温暖化の科学的根拠があるのでしょうか。二酸化炭素が地球の上空に溜まるとしたら、そこは寒冷な場所で、二酸化炭素が冷却されるのになぜドライアイスにならないのか。
- 自転車でも買い物に行けるように、自転車専用道路を造って欲しい。
- 小中高でまずはポイ捨て、自転車の無灯火運転について指導する。

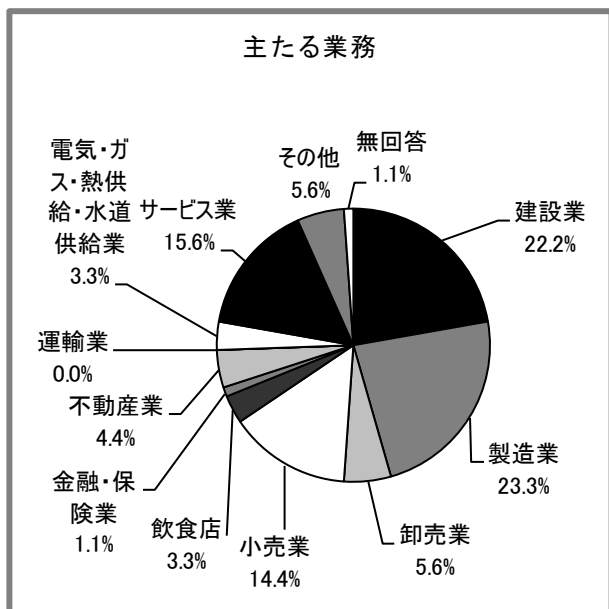


- 河川の整備、市内の美化、市内の緑化。
- 緑地を宅地に開発するのをやめてはどうでしょうか。
- 既存の緑地をまとまりとして保全、整備し、市民がふれあえる場所とする。
- 道路舗装の工事があまりにも下手で、これが業者かと疑う。市が手抜きや下手を認めていると思わざるを得ない。
- 自転車通行路の確保、自転車通行ルールの徹底。
- 補助金制度。
- 太陽光発電設備の補助。
- 省エネ促進（窓ガラスに貼るシートの補助など）。
- 自転車が走りやすい道路の推進。ごみ処理、資源化の現状の説明会。

## 第2節 事業者アンケート

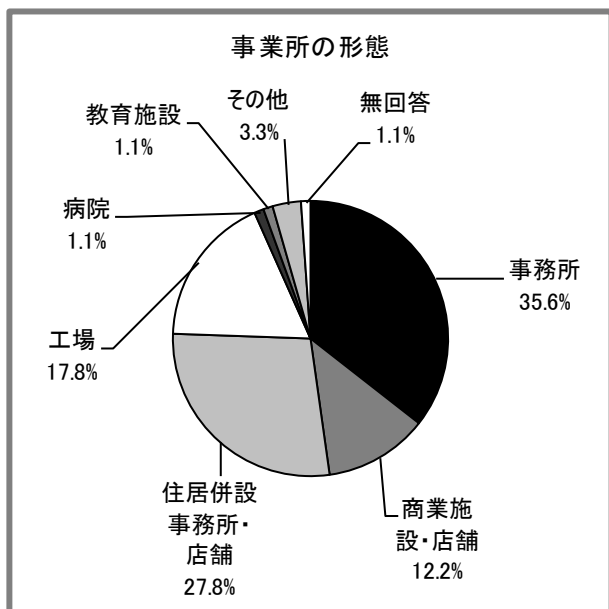
### 1 回答事業者の属性

#### 1) 主たる業務



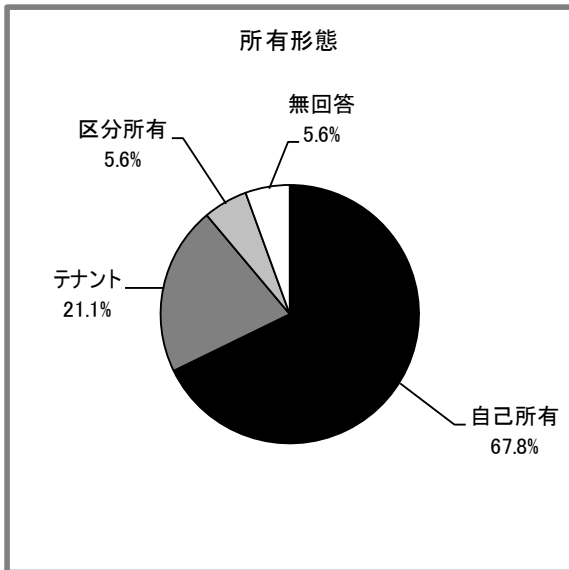
「製造業」「建設業」が最も多く、それぞれ2割を超えています。次が「サービス業」「小売業」です。

#### 2) 事業所の形態



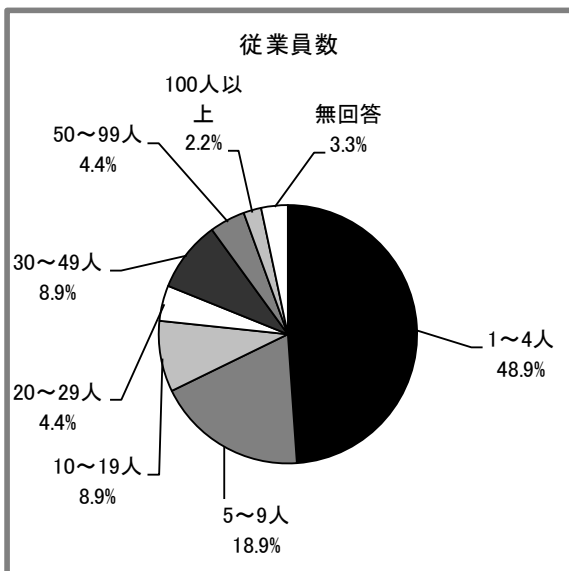
「事務所」が最も多く3割を超えています。次は「住居併設事務所・店舗」で、「工場」「商業施設・店舗」が続いています。

### 3) 所有形態



「自己所有」が最も多く、全体の約7割となっています。

### 4) 従業員数

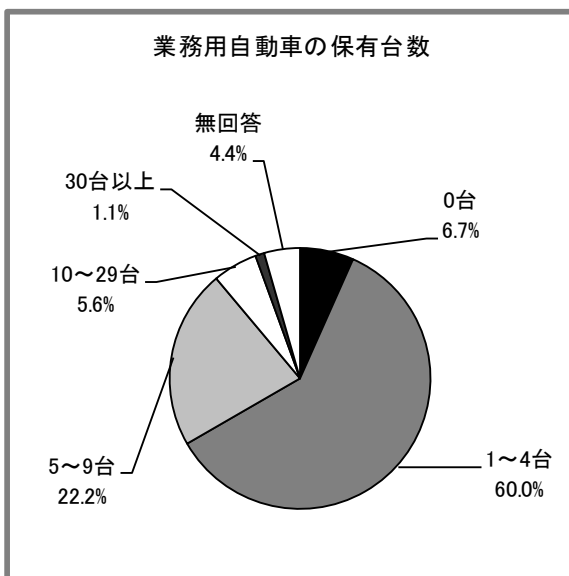


「1~4人」が最も多く、次は「5~9人」で、これらを合わせて全体の約7割となっています。

50人以上の事業所は、1割未満です。

「製造業」の38%、「建設業」の95%が、「1~4人」もしくは「5~9人」となっています。

### 5) 業務用自動車の保有台数

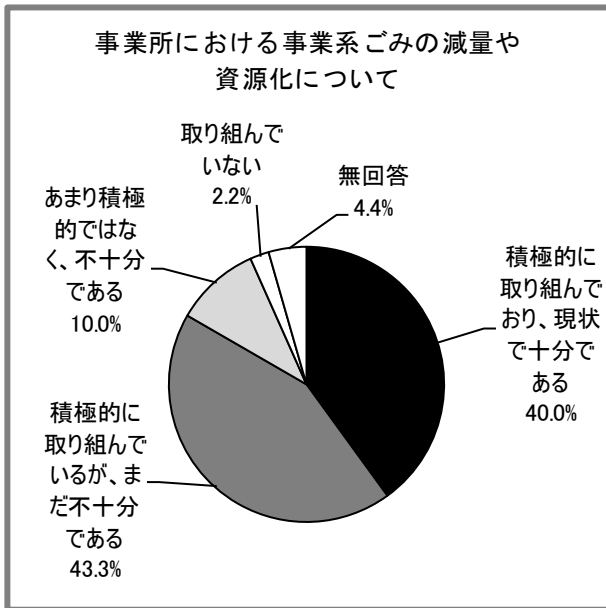


「1~4台」が最も多く、6割となっています。次は「5~9台」で、10台以上を保有する事業所は1割未満です。

「製造業」の71%、「建設業」の50%が、「1~4台」です。また、「製造業」の24%、「建設業」の40%が、「5~9台」です。

## 2 ごみ問題やリサイクルについて

### 1) 事業所における事業系ごみの減量や資源化の状況について



「積極的に取り組んでいるが、まだ不十分である」が最も多く、次が「積極的に取り組んでおり、現状で十分である」で、いずれも4割を超えています。

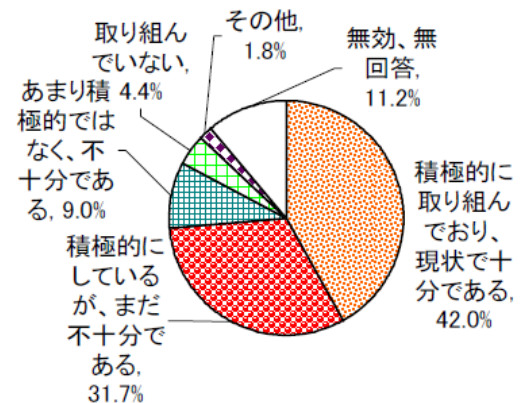
以前のアンケート（下記参照）と比較すると、「積極的に取り組んでいるが、まだ不十分である」が多くなっています。

参考：流山市一般廃棄物処理基本計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

Q8. 貴事業所での事業系ごみの減量・資源化への取り組みについてお聞きします。

n=735

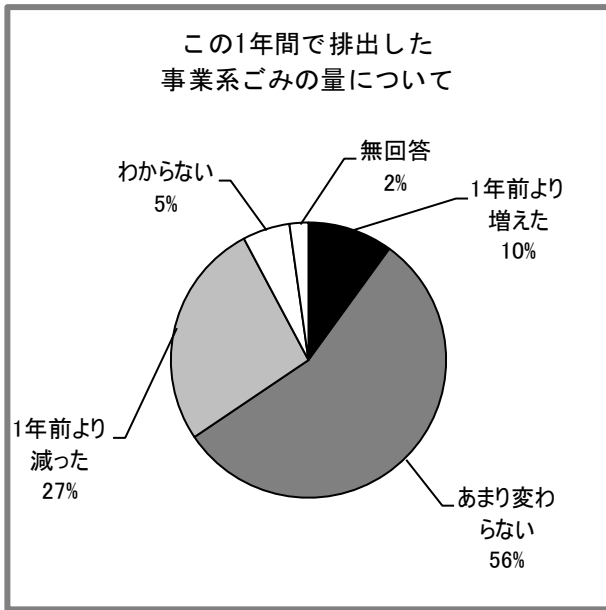
項目	人数	割合
積極的に取り組んでおり、現状で十分である	309	42.0%
積極的にしているが、まだ不十分である	233	31.7%
あまり積極的ではなく、不十分である	66	9.0%
取り組んでいない	32	4.4%
その他	13	1.8%
無効、無回答	82	11.2%
計	735	100.0%



クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との連関はみられません。

2) この1年間で事業所が排出した事業系ごみの量について



「あまり変わらない」が最も多く、全体の5割を超えています。次は「1年前より減った」となっています。

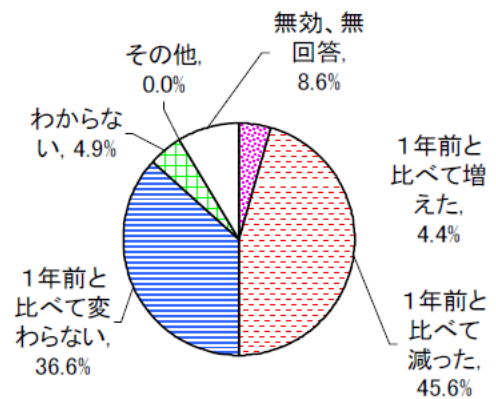
以前のアンケート（下記参照）と比較すると、「1年前より増えた」「あまり変わらない」が多くなり、「1年前より減った」が少なくなっています。

参考：流山市一般廃棄物処理基本計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

Q9. 貴事業所からの事業系ごみの排出量についてお聞きします。

n=735

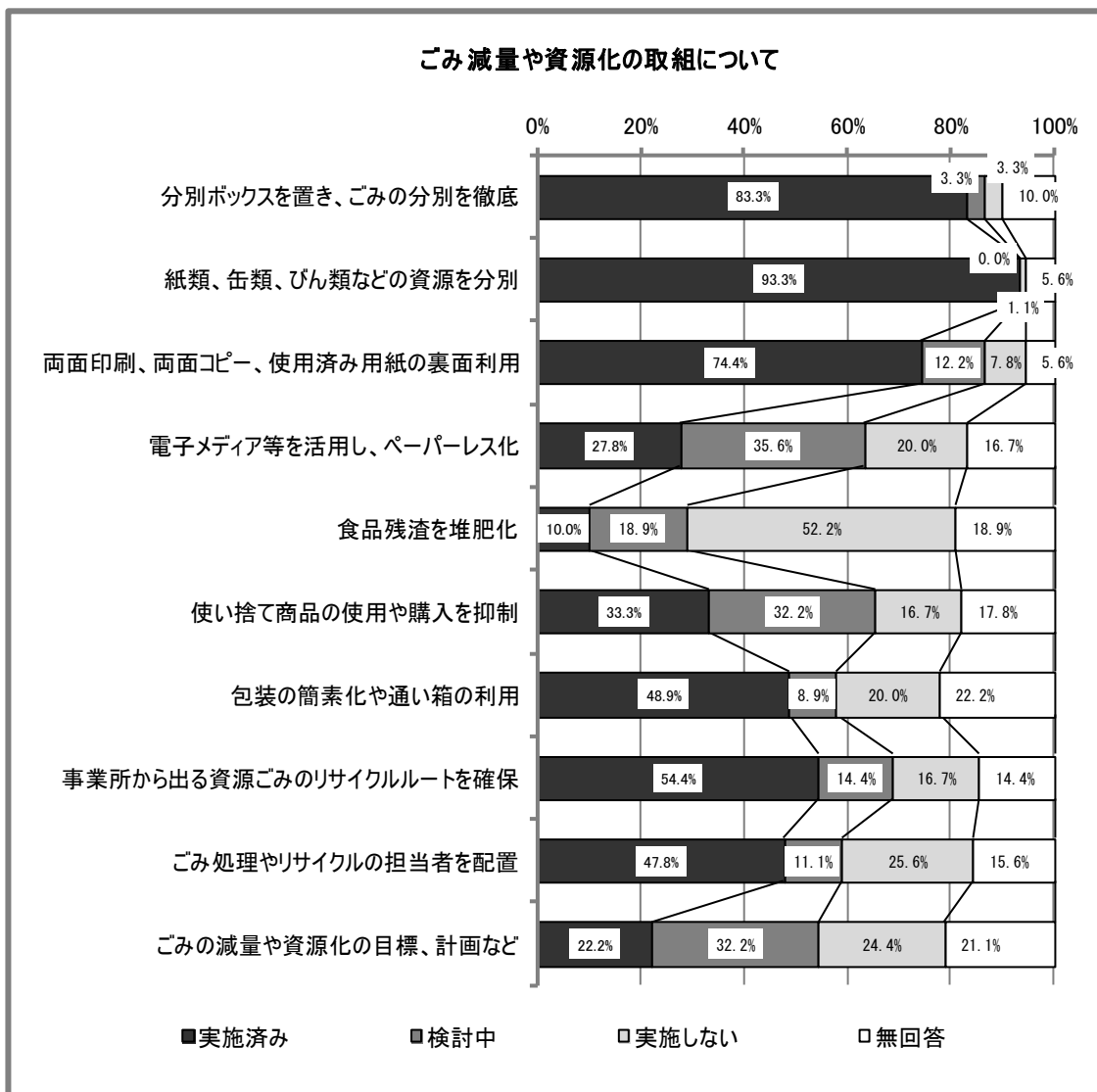
項目	人数	割合
1年前と比べて増えた	32	4.4%
1年前と比べて減った	335	45.6%
1年前と比べて変わらない	269	36.6%
わからない	36	4.9%
その他	0	-
無効、無回答	63	8.6%
計	735	100.0%



クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との連関はみられません。

3) ごみ減量や資源化の取組について（該当しない項目は無回答でよい）

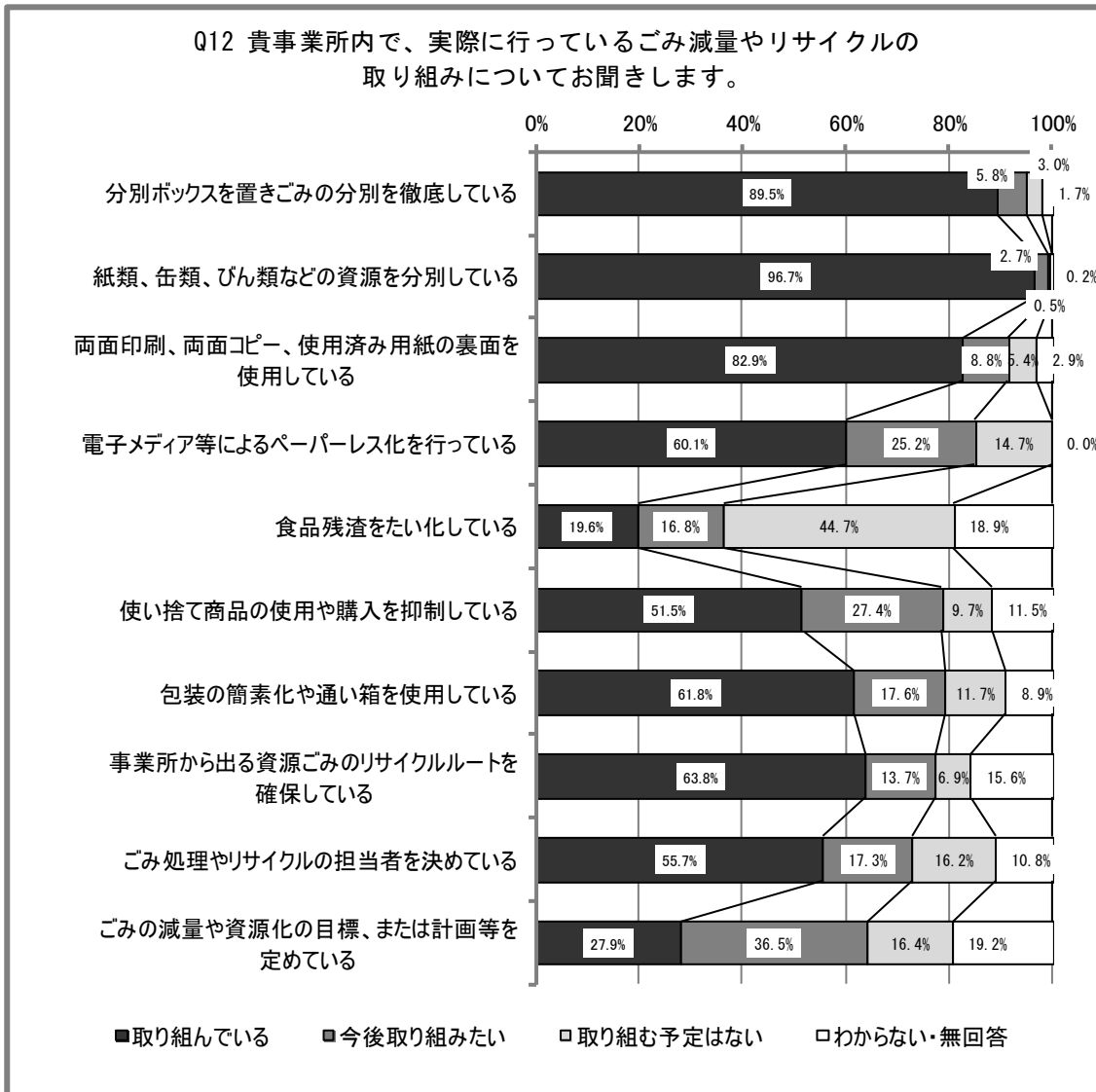


「実施済み」では、「紙類、缶類、びん類などの資源を分別」が最も多く、次は「分別ボックスを置き、ごみの分別を徹底」「両面印刷、両面コピー、使用済み用紙の裏面利用」で、いずれも7割を超えています。「事業所から出る資源ごみのリサイクルルートを確認」「包装の簡素化や通い箱の利用」「ごみ処理やリサイクルの担当者を配置」は、約5割となっています。

「実施済み」「検討中」を合わせると、「食品残渣を堆肥化」を除いて、どの項目も5割を超えています。

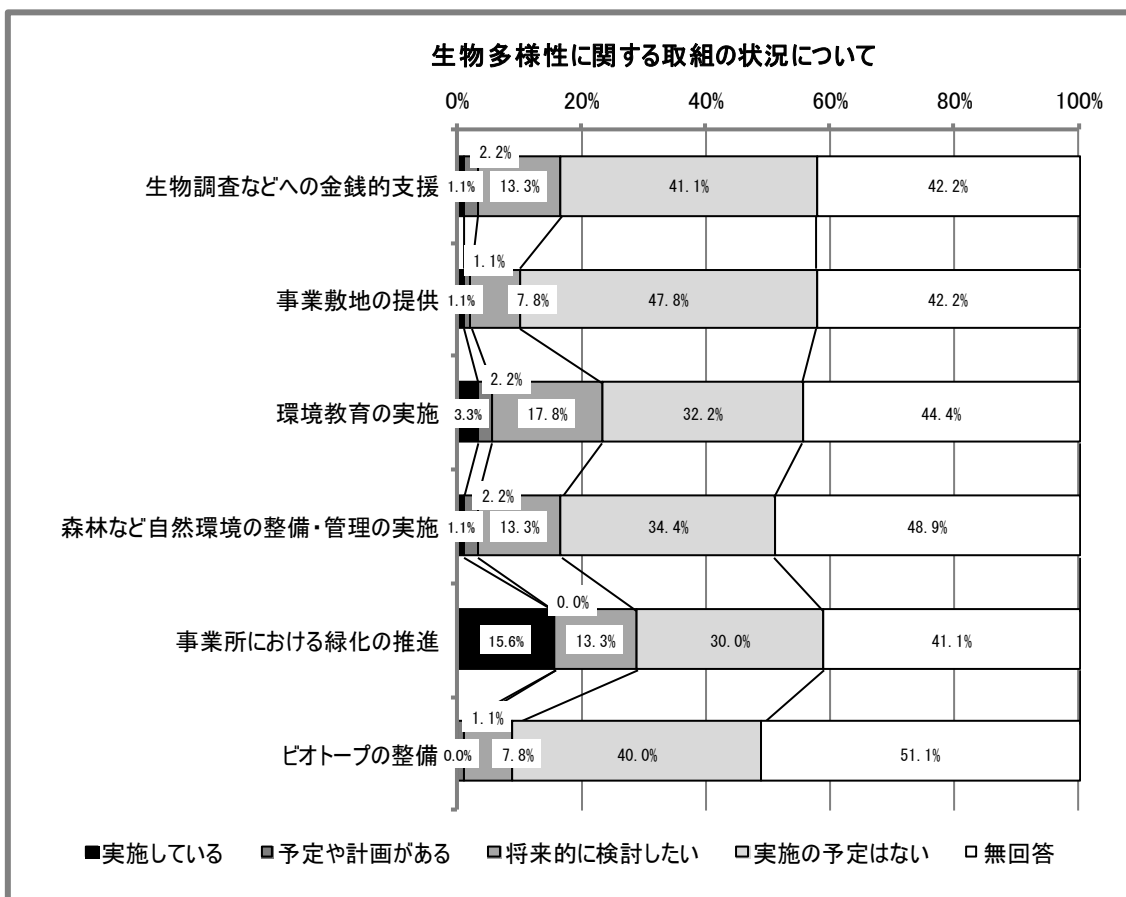
以前のアンケート（下記参照）と比較すると、いずれの項目も「実施済み」が少なくなっています。

参考：流山市一般廃棄物処理基本計画策定時のアンケート（平成21年度実施）



### 3 生物多様性について

1) 事業所における生物多様性に関する取組の状況について（わからない項目は無回答でよい）



全体として、「実施の予定はない」「無回答」が多くなっています。これらを合わせると、いずれの項目でも7割を超えています。

「実施している」では、「事業所における緑化の推進」が最も多く、次が「環境教育の実施」となっています。

以前のアンケート（下記参照）と比較すると、順位は同様で、割合としては多くなっています。

参考：生物多様性ながれやま戦略策定時のアンケート（平成21年度実施）

生物多様性に関する取組

n = 27

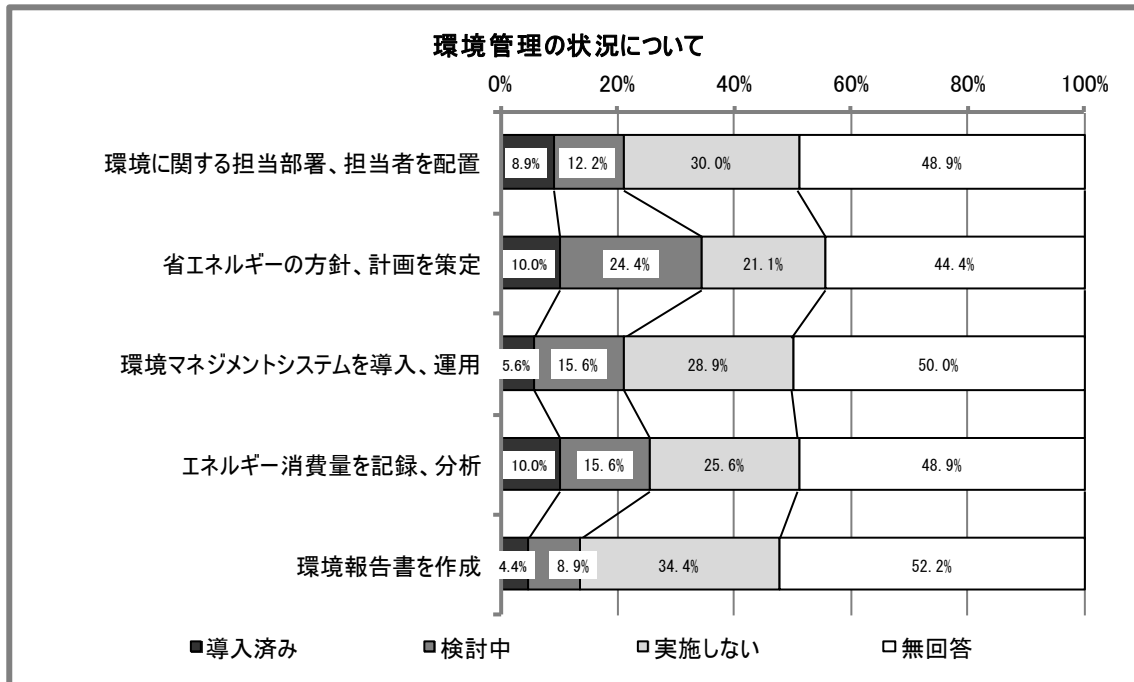
（複数回答有）

生物調査等への金銭的な支援	3
事業敷地の提供	1
環境教育の実施	11
森林整備・管理の実施	2
事業所における緑化の推進	17
ビオトープの整備	3



## 4 地球温暖化問題について

### 1) 事業所における環境管理の状況について（該当しない項目は無回答でよい）

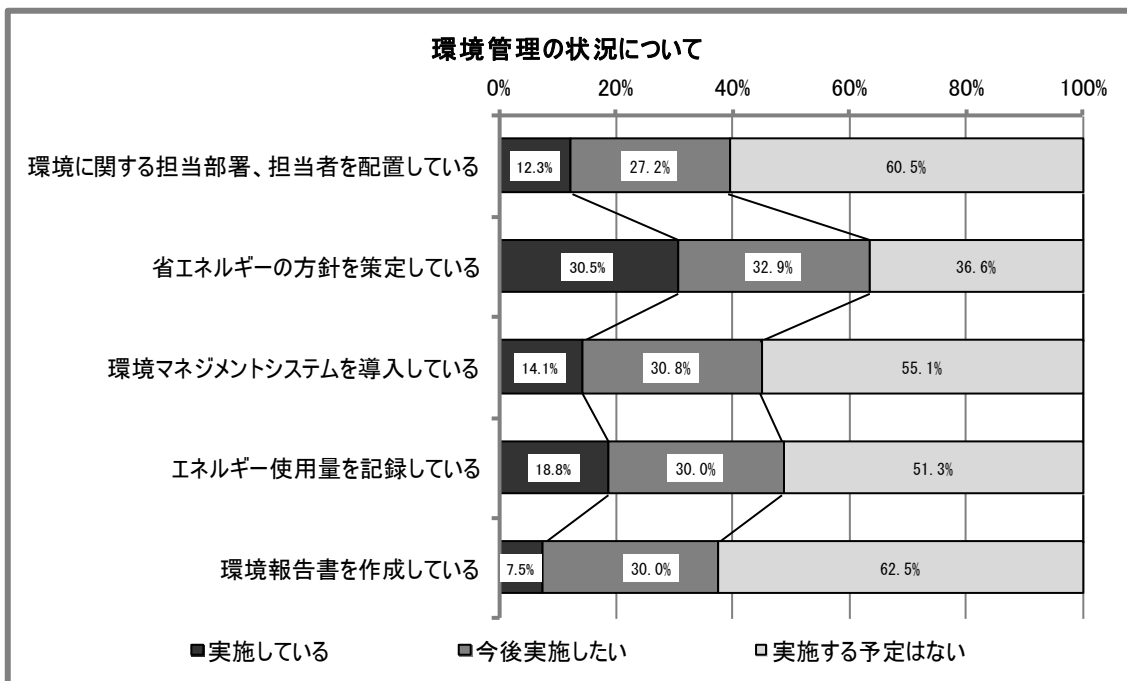


全体として、「実施しない」「無回答」が多くなっています。これらを合わせると、いずれの項目でも6割を超えています。

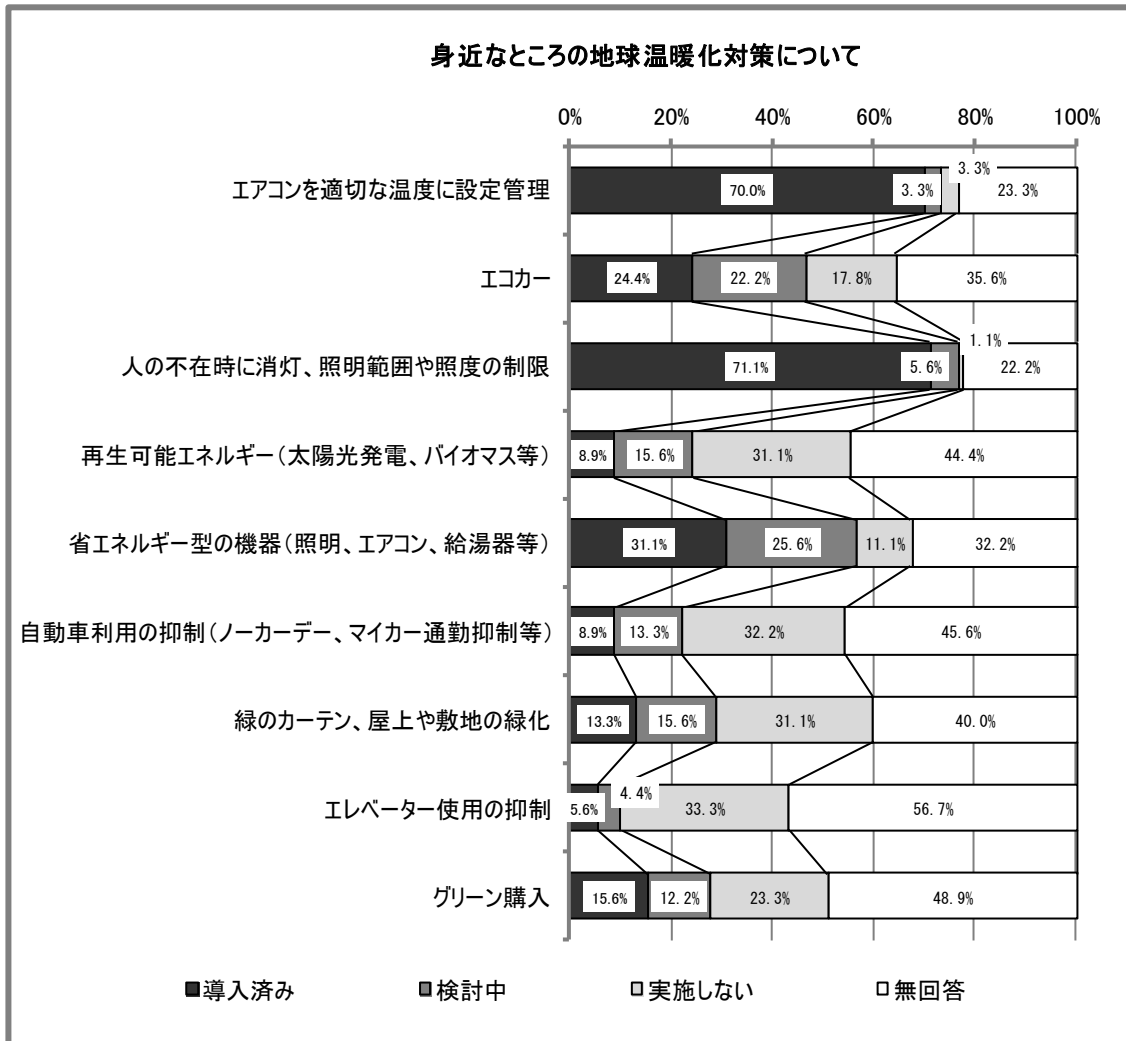
「実施している」「検討中」を合わせてみると、「省エネルギーの方針、計画を策定」が最も多く、3割を超えています。

以前のアンケート（下記参照）と比較すると、いずれの項目も実施や意欲が少なくなっています。

参考：流山市地球温暖化対策実行計画策定時のアンケート（平成21年度実施）



2) 身近なところの地球温暖化対策の状況について（該当しない項目は無回答でよい）



「実施している」については、「人の不在時に消灯、照明範囲や照度の制限」「エアコンを適切な温度に設定管理」が多く、約7割となっています。「省エネルギー型の機器（照明、エアコン、給湯器等）」は約3割、「エコカー」は約2割で、これらでは「検討中」も多くなっています。

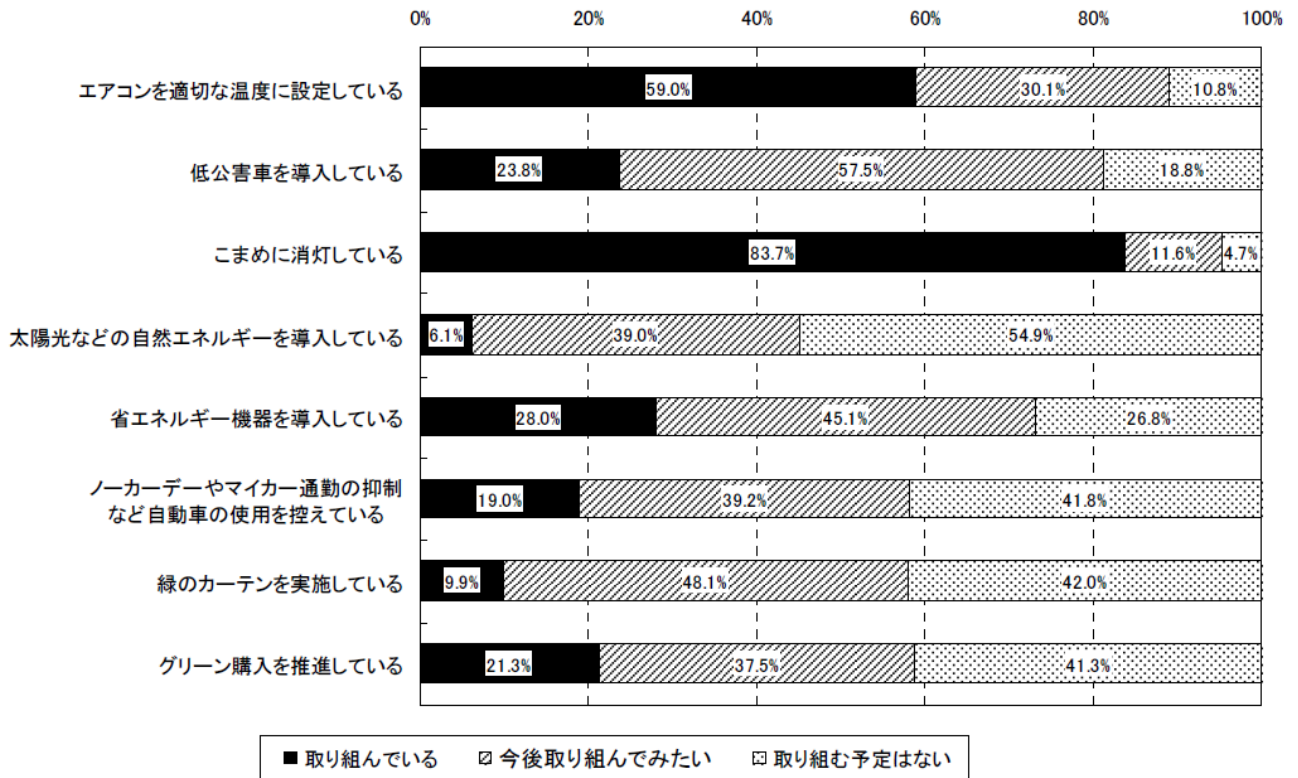
他の項目では、「実施しない」「無回答」が多く、合わせると7割を超えています。

以前のアンケート（次頁参照）と比較すると、「導入済み」について5項目が多くなっています。少なくなったものは「人の不在時に消灯、照明範囲や照度の制限」「自動車利用の抑制」「グリーン購入」で、「エレベーター使用の抑制」は比較対象外です。

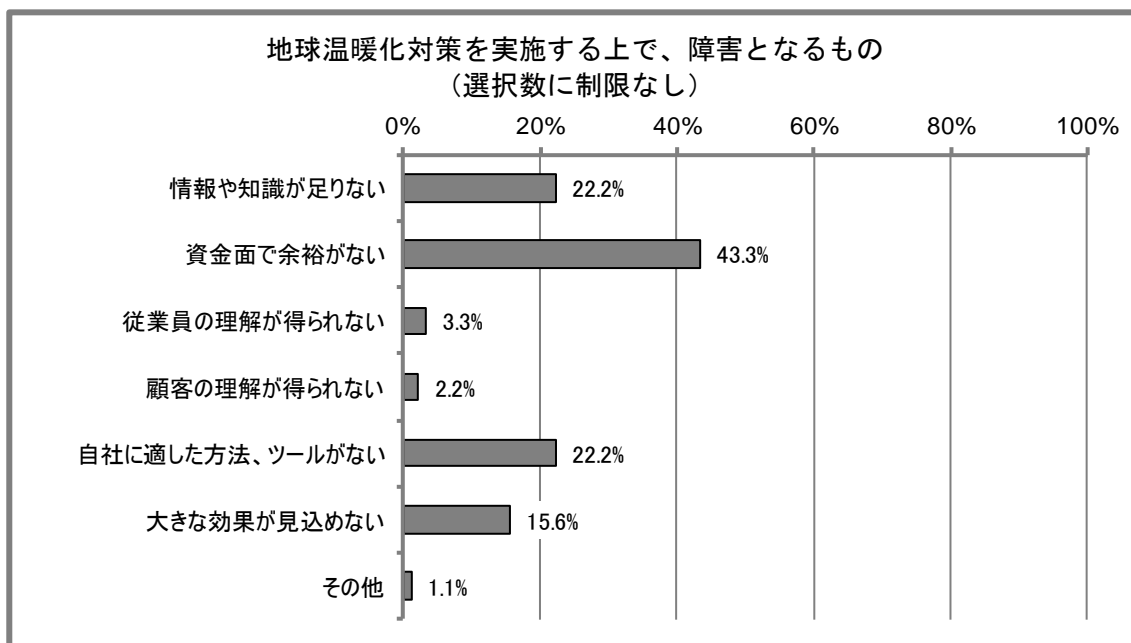
順位は同様で、割合としては多くなっています。

参考：流山市地球温暖化対策実行計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

地球温暖化対策の取組状況について



3) 事業所が地球温暖化対策を実施する上で、障害となるものをえらんでください（選択数に制限なし）



「資金面で余裕がない」が最も多く、4割を超えています。次は「情報や知識が足りない」「自社に適した方法、ツールがない」となっています。

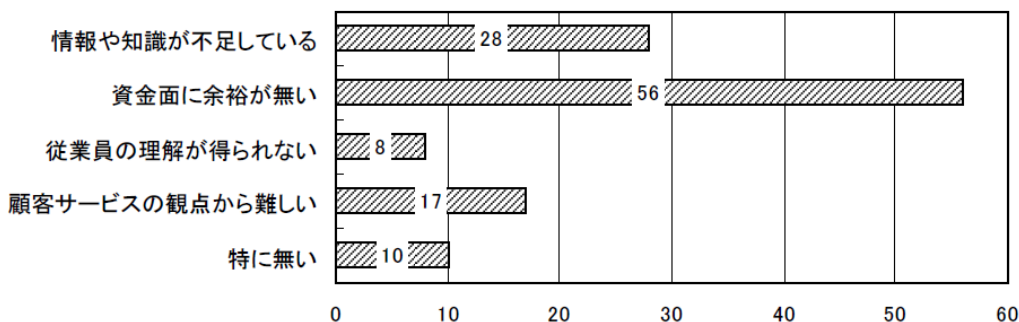
以前のアンケート（下記参照）と比較すると、順位は同じような傾向にあります。

【その他】

- 個々の認識が不足。
- 金属はスクラップ屋に持ち込み、ペーパー類は週1回自宅分といっしょに処理している。

参考：流山市地球温暖化対策実行計画策定時のアンケート（平成21年度実施）

地球温暖化対策を実施するうえでの障害について（n=1,180）



クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

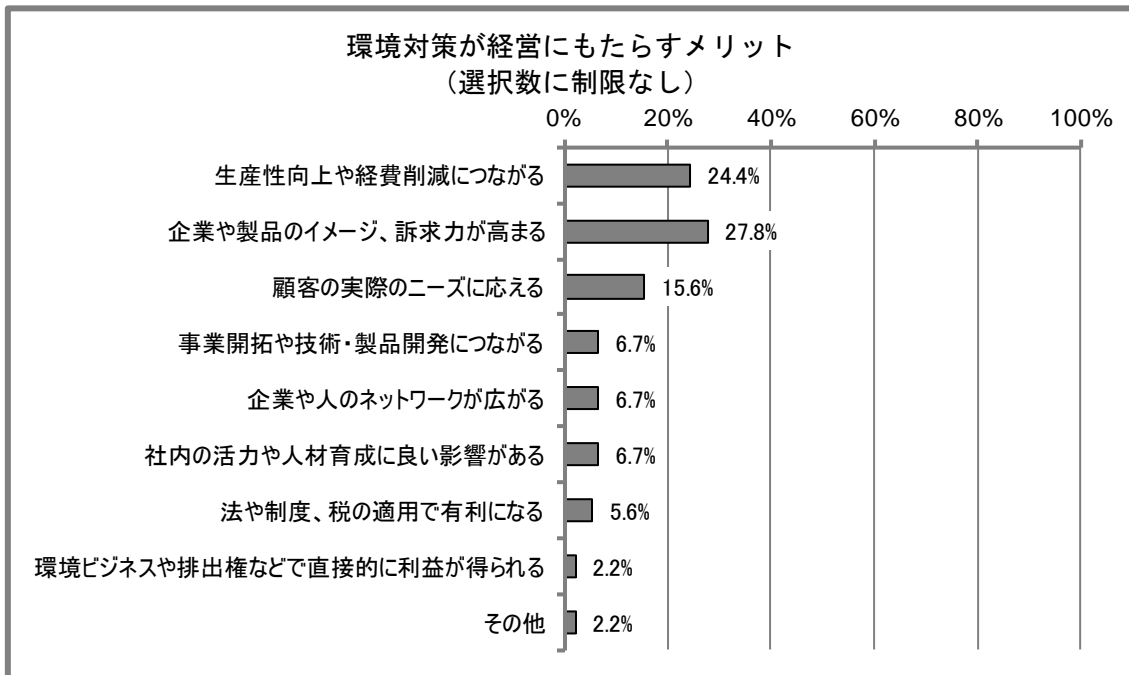
従業員数別（ $p=0.005$ ）で「資金面に余裕がない」をみると、「1～4人」が全体値と同じ、「5～9人」では若干上回っています。

従業員数	資金面に余裕がない
1～4人	43%
5～9人	47%

主たる業務との連関はみられません。

## 5 環境対策や地域環境について

- 1) 環境対策が貴事業所の経営にもたらすメリット（利点）を選んでください（選択数に制限なし）



「企業や製品のイメージ、訴求力が高まる」が最も多く、約3割となっています。、次は「生産性向上は経費削減につながる」「顧客の実際のニーズに応える」です。

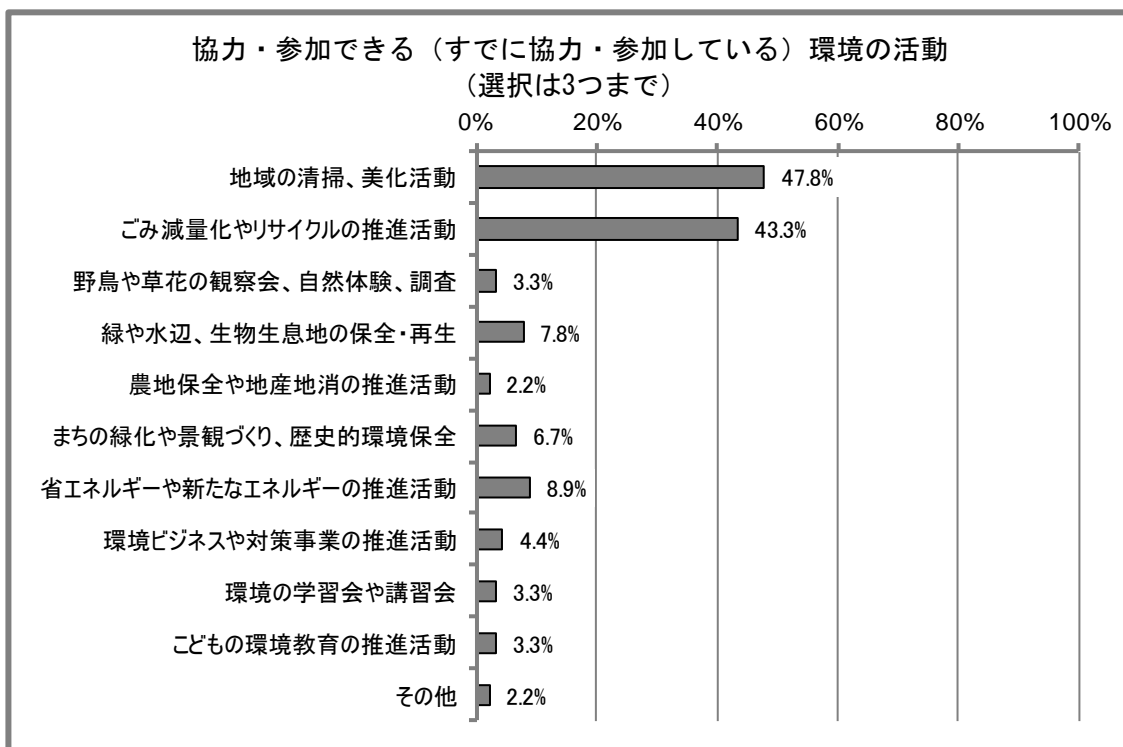
### 【その他】

- 将来にわたっての社会貢献、但し、直接的メリットはほとんどない。

### クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との関連はみられません。

2) 事業所が協力・参加できる（すでに協力・参加している）、環境の活動を選んでください（選択は3つまで）



「地域の清掃・美化活動」が最も多く、次が「ごみ減量化やリサイクルの推進活動」で、いずれも4割を超えています。

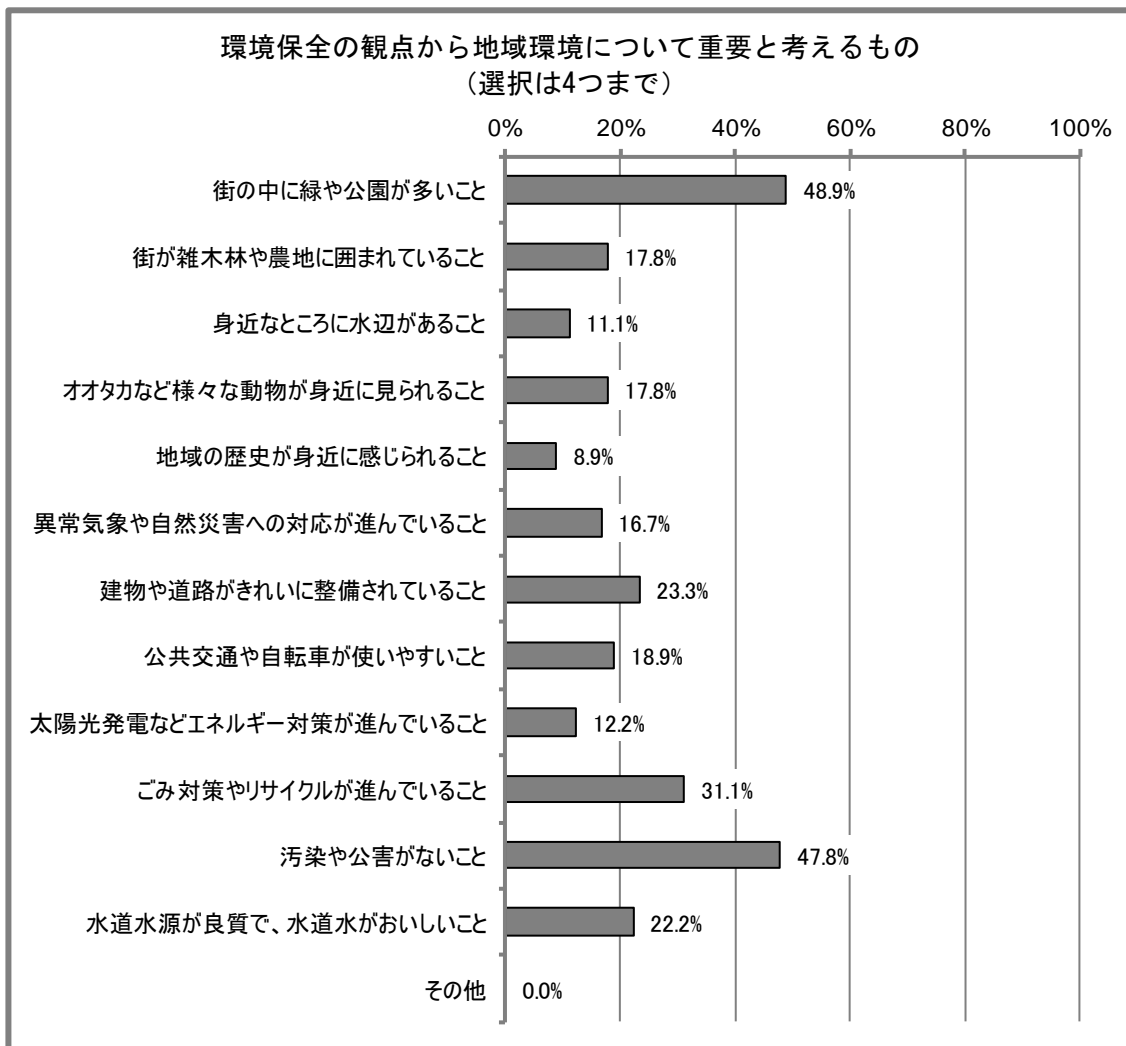
【その他】

- エコアクションサポート、エコ de グリーンキャンペーンの実施。

クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との連関はみられません。

3) 環境保全の観点から、地域環境について、事業所が重要と考えるものを選んでください（選択は4つまで）



「街の中に緑や公園が多いこと」が最も多く、次が「汚染や公害がないこと」で、いずれも約5割となっています。

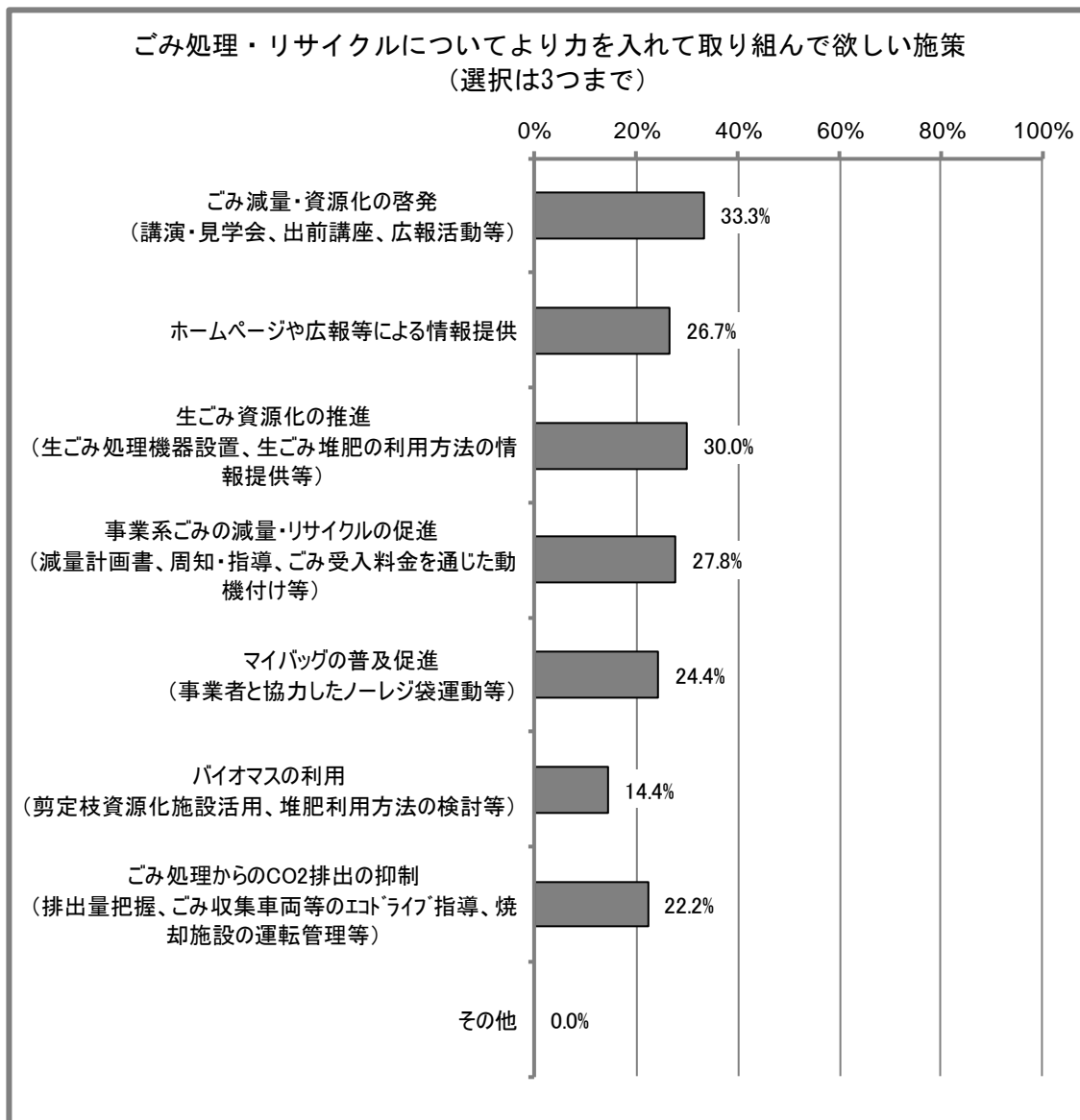
続いて、「ごみ対策やリサイクルが進んでいること」「建物や道路がきれいに整備されていること」「水道水源が良質で、水道水がおいしいこと」となっています。

クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との関連はみられません。

## 6 市の重点的取組について

- 1) 次の7項目は「流山市一般廃棄物処理基本計画」の重点施策ですが、ごみ処理・リサイクルについて、事業所としてより力を入れて取り組んで欲しい市の施策を選んでください（選択は3つまで）



「ごみ減量・資源化の啓発（講演・見学会、出前講座、広報活動等）」が最も多く、3割を超えています。次は「生ごみ資源化の推進（生ごみ処理機器設置、生ごみ堆肥の利用方法の情報提供等）」「事業系ごみの減量・リサイクルの促進（減量計画書、周知・指導、ごみ受入料金を通じた動機付け等）」「ホームページや広報等による情報提供」で、いずれも約3割となっています。

### 【その他】

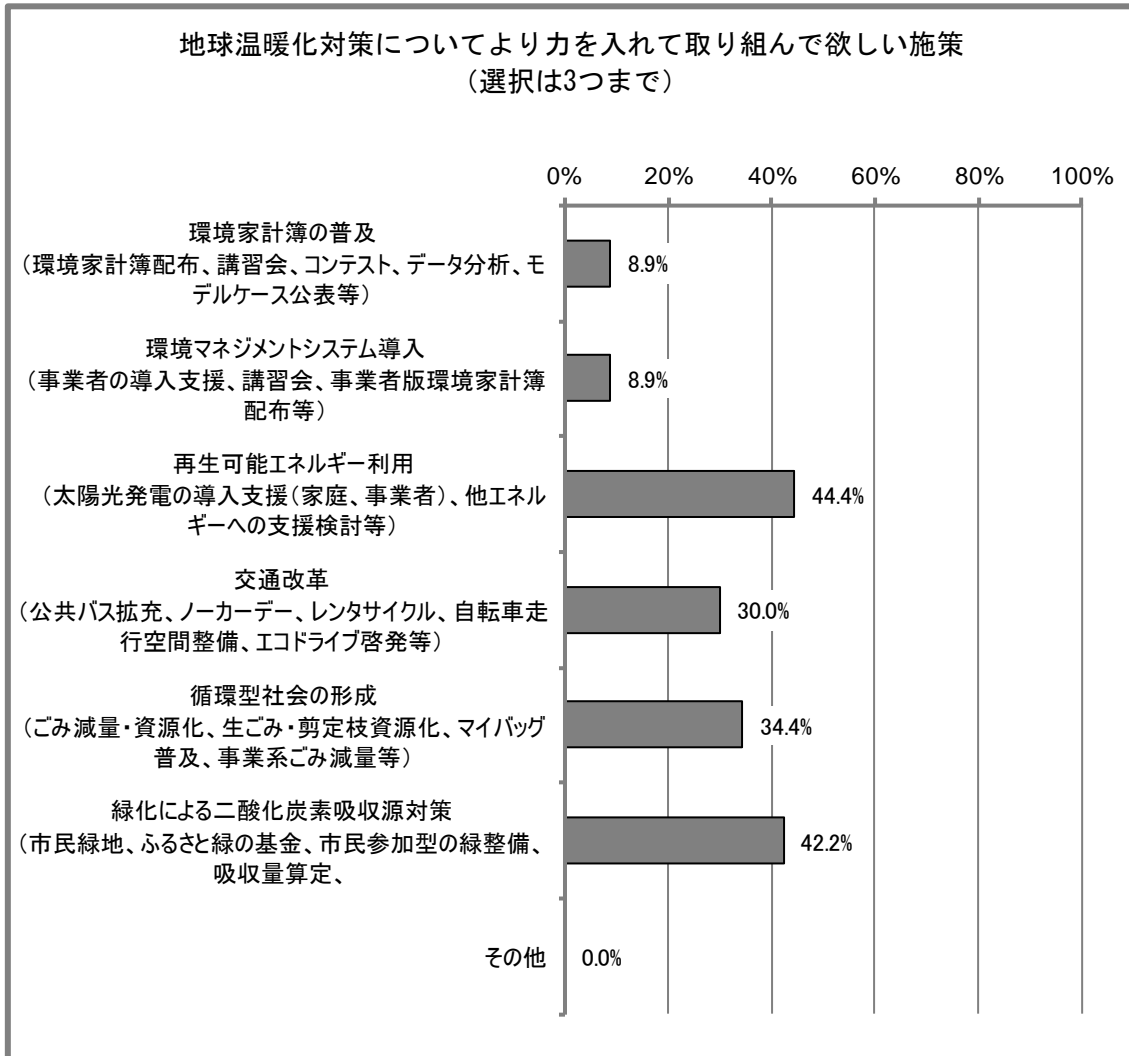
- 若い世代や子どもへの意識付けが、特に重要と思う。

### クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との連関はみられません。



- 2) 次の6項目は「流山市地球温暖化対策実行計画」の重点プロジェクトですが、地球温暖化対策について、事業所としてより力を入れて取り組んで欲しい市の施策を選んでください（選択は3つまで）



「再生可能エネルギー利用（太陽光発電の導入支援（家庭、事業者）、他エネルギーへの支援検討等）」が最も多く、次が「緑化による二酸化炭素吸収源対策（市民緑地、ふるさと緑の基金、市民参加型の緑整備、吸収量算定、グリーンチェーン認定等）」で、いずれも4割を超えています。

続いて、「循環型社会の形成（ごみ減量・資源化、生ごみ・剪定枝資源化、マイバッグ普及、事業系ごみ減量等）」「交通改革（公共バス拡充、ノーカーデー、レンタサイクル、自転車走行空間整備、エコドライブ啓発等）」となっています。

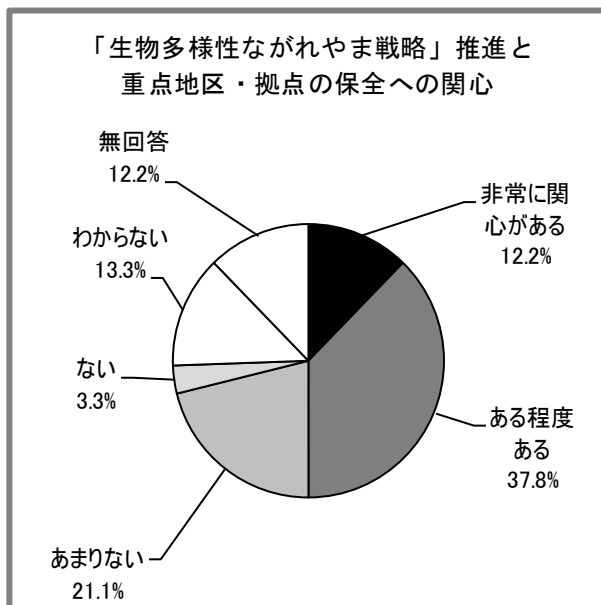
#### 【その他】

- 小さな商店なので、鉢植え程度の緑化で協力。

#### クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との連関はみられません。

- 3) 市が「生物多様性ながれやま戦略」を推進し、重点地区（市野谷の森地区、利根運河地区）と地区内8拠点を定めて、保全を図っていることについて、事業所として関心がありますか



「ある程度ある」が最も多く、次が「非常に関心がある」で、合わせると全体の5割となっています。

クロス集計：主たる業務別、従業員数別について

主たる業務、従業員数との連関はみられません。

## 第3節 自由意見

※掲載にあたり、個人や法人に関わる保護すべき情報、誹謗中傷に類する部分は除外しています。

### 1 市民の自由意見

#### 1) ごみ処理、3R 等に係る意見

1. マイバッグを持参するよう心がけている。
2. 他県より引っ越してきましたが、流山市のクリーンセンターは素晴らしいと思います。
3. 何でもかんでもパッケージで、二人暮らしにもかかわらず、ごみがいっぱいです。地球のことが心配です。
4. びん、缶の回収について、麻袋を使用するやり方を改善して欲しい。各家庭で一度まとめたものを麻袋に入れ直す手間が煩雑。
5. 市民がごみを拾って歩く会の開催。市民（登録制）がトングで拾ったごみの処理の専用ごみ箱で、登録者のみ開閉できるようにする。
6. ごみを減らすことによるメリットを定量化し、ごみにどれだけの税金が使われ、取組でどれだけ節約できるのかを示すべき。
7. リサイクルなどに協力したら、ながぼんカードにポイントが追加されるなどの特典があると良いです。
8. ごみ集積所に出すごみに違反が多く、その都度、処理するのに苦慮している。各戸前にごみを出すようにすれば、各自責任を持って分別もするようになると思う。
9. ペットボトルやプラスチック容器がリサイクルできるように、集める場所を増やして欲しいです。スーパーだけでなく、コンビニ等でも集めて欲しい。
10. あまり上から締め付けるようなやり方は、避けるべき。ごみを捨てる方が困る方針は、避けるべき。
11. ごみの分別方法など、毎年知らされているのに、未だにまちがえたごみの出し方をされる人がいます。せっかくペットボトルを出しても、キャップやラベルが付いていたり、小さい子どものうちから、正しい知識を学ぶのが良いと思います。
12. プラスチックのごみの捨て方がよくわからない。松戸市はきれいなもの、汚いものに分かれていて、リサイクルしやすかったと思います。
13. リサイクル活動、ごみの減量化に、もっと積極的に取り組んで欲しい。
14. 生ごみの日を、週3日に増やして欲しい。プラと可燃ごみを一緒に焼却できる機械を、入れてもらいたい。
15. 立派な焼却炉があるので、他の市等のごみを有料で焼却したり、プラのごみを分別せずに焼却していただきたい。
16. 生ごみを朝に出していますが、収集時間が昼過ぎで、交通や環境に悪いと思います。

17. レジ袋は時々もらって、ごみ出しに活用しています。もちろんマイバッグは、いつも2つくらいもって買い物をしてはいますが、もし、ノーレジ袋で有料化されすと、ごみ出し袋を別に購入しなくてはいけないようなら困ります。
18. 家庭で排出される生ごみは、庭の角に穴を掘って埋めています。肥料として再利用しています。剪定した木は、枝と葉に分けて埋めたり、ごみとして出したりしています。
19. 循環型社会の形成を、重点的に取り組んで欲しい。
20. 近くのスーパーで、ペットボトルの回収をやって欲しい。ごみの日まで待てないため、こまめに捨てたい。町内の回覧板に、関係ないものが回ってくるので、やめて欲しい。
21. 畑の作物の残骸が燃やせなくて困っています。燃やすと警察に通報されるので、農業が出来ない状態です。
22. 生ごみ処理機を低価格でレンタルできるようにして欲しい。ごみ捨て場は箱形にして、意識的に減らせるようにしたい。
23. 生垣の刈り込みの枝葉などのごみは、どうしても止めることのできないものです。
24. 生ごみ処理機器を、手軽な価格で購入できればいいと思います。
25. ペットボトルのリサイクル、鉄や金物の再生を無料化、新川耕地の休耕田に大型ソーラーシステムをやって欲しい。
26. 望ましい家庭ごみの処理方法の説明会を、各地域ごとに積極的に実施して欲しい。
27. コンポストはとても便利です。生ごみが魔法のように消えていくので、ごみの日は紙類だけになります。神奈川県のように補助金を出して、各家庭に設置すれば良いのですが、マンションはだめです。
28. 流山クリーンセンターの施設は素晴らしいと思います。もっと多くに市民に、あの施設を見てもらえるといいと思います。すると、ごみの分別等の、1人ひとりの考え方も変わっていくのではと思います。

## 2) ごみの放置、衛生等に係る意見

29. 犬のフンや放し飼いのネコのフンなどで、非常に迷惑している。街中にも張り紙をして欲しい。
30. 自分のごみは自分で持ち帰ってください。イヌのフン、家の周りでやられる尿が臭い。
31. 私は農業をしています。農地のごみで悩んでいます。
32. 未だに歩きたばこや吸い殻ポイ捨てが有り、人体にも環境にも良くないと思います。
33. イヌのフンを始末できない一部の人のせいで、飼い主全員が悪い目で見られる。もう少し厳しくすべきだと思う。
34. 当地に住んで52年、江戸川台西の側溝には蓋が施されているが、同じ地にすむ当家を囲む一部の側溝には、なぜか蓋がなく、52年間ごみ捨て場となっており、それとの戦いとなってきている。安易にごみが捨てられる側溝が、住民の道徳心向上の妨げとなっているのではないか。
35. 松ヶ丘地区でのイヌのフンの始末は、皆良くやっていると思いますが、よその地区からイヌの散歩に来る方の反省をお願いしたい。
36. 動物を飼う人口が増えて、イヌ、ネコが庭に入って糞尿をする。これがなくなれば、庭いじりも楽しくなります。

37. イヌ、ネコの糞害に大変困っている。ごみ出しルールの無視があるが、怖くて注意できない。
38. 歩きタバコを全域禁止にしてほしい。
39. おおたかの森高校通学路に自宅があります。学生によるごみのポイ捨てが多く、困っています。
40. イヌの散歩中のフン、持ち帰りを強く市民に訴えて欲しい。空き家が目立ってきたと思うので、きれいにして欲しい。
41. 夜間のごみのポイ捨て、イヌのフンの放置が多い。
42. 野焼き禁止。歩きタバコ禁止。
43. 東武野田線の線路の中に、ポイ捨てがある。会社の土地だが、歩いていて気になる。小さな公園が多くあるより、中で鬼ごっこできるくらいの広さがないと、幼児くらいまでしか遊んでいない。自然にふれあえる公園が、身近には少ない。
44. 自治会での消毒が禁止されているから、蚊が増えて困っている。悪い病気がはやらないか心配です。
45. イヌのフンや尿の始末について、もっと厳しく指導して欲しい。歩道にフンが落ちていることも多々あり、とても残念。一時、我が家の庭にしていくイヌがいて、とても迷惑でした。現行犯で厳しく注意しました。
46. ごみ収集業務の方々は、しっかりと仕事していると思います。個人個人がごみの分別をきちんとしていないように思いますし、タバコの吸い殻のポイ捨ては多く見られます。燃えるごみの収集日には、気をつけて拾うようにしていますが、いつも落ちています。
47. 緑の多いこの街に住んで良かった。しかし、緑地帯にタバコのポイ捨てが多く、朝に煙がまだ消えていない事もあります。駅周辺だけでなく、禁煙の立て札をもっと立てて欲しいです。

### 3) 自然環境、緑、公園等に係る意見

48. これ以上はマンションを建てないでください。人口を増やすことばかり考えないでください。
49. おおたかの森地区への投資が多く感じられる。既存地域も公平に投資するよう改善して欲しい。
50. 運河を桜でいっぱいになりたいと思います。
51. 埼玉に毎日通っています。流山の橋を渡って帰るとき、温度と空気が変わります。夏はよくわかります。木が多いからだと思います。気持ちよいです。この感じをずっと残して欲しいです。
52. 流山市は自然が豊かなところと言われてきたが、最近はその良いところが次第に減少してきている。対策が必要と思う。
53. これ以上開発して、緑や生物を無くさないようにお願いします。便利さはこれくらいで良いのではないのでしょうか。思井に見られたサギやキジがいなくなり、とても残念です。
54. 生物多様性ながれやま戦略の重点地区が、自宅の近くにあるのに、実際には行ったことがないところが多いことに気付いた。百聞は一見にしかず、機会があれば行こうと思う。
55. 大きい木のこと、緑化については、色々取り組んでいると思います。大きい木のあるところは、木が大きく育つには年月がかかること、何でも切らないで、大木は残してあげたいと思います。大木を含めた緑地を残す。

56. 森や林、自然を大切にしたい。家やショッピングモールなども大切だが、近年多くなって、空気が悪くなっているように感じる。ヤモリやオオタカなど、どこにでもいるわけではない動物や植物を大切に、身近に感じられる街であって欲しい。
57. 30年前に、緑を求めて川崎市より流山市へ移ってきました。今では緑がどんどん減っています。流山市の魅力がなくなっています。何とか緑を残して欲しいです。
58. 利根運河やその周辺の里山風景は、とても貴重な自然いっぱい所です。河床をきれいにする、出来るだけ家庭排水を流さない等、市民が気をつけることが大事だと思う。利根運河の臭いが残念です。
59. いいアンケートですね。街の木がどんどん切られて悲しい。こういう風に訊いてもらえて良かった。グリーンバンクも何度か利用させて頂いています。
60. 現在の自然を活かし、公園を作って欲しい。
61. 思井の森を保存して欲しい。これ以上、樹木の伐採はやめて欲しい。本来の自然を大切にしたい。
62. 豊富な緑地を活用して、大規模なクライナガルテン的施設を開設し、金持ちの流入を狙う。併せて周辺に、炊事施設や交流スペースを造るなど、環境を活用し、生き甲斐向上、経済発展の一役とする。
63. 緑化といいながら、初石からおおたかの森辺りの林を裸にしたやり方は許せない、散歩もできない。
64. つくばエクスプレス開通に伴い、自然環境の保存が難しくなると思いますが、一層の努力が必要だと思います。また、農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地が増加していますが、家庭菜園等の貸し付けが容易に対応できるようにして頂けたらと思います。
65. 道路ばかり造らないで、森や公園をもっと増やしてもらいたい。道路は混むときには混む。
66. 流山市は真剣に自然保護を考えているとは思いません。名目上、色々整備されていますが、自然とは全く違うものだと思います。悲しいです。
67. おおたかの森駅周辺の緑が、激減したことに腹立ちを覚えています。緑を増やしてください。
68. 農地や家庭菜園等の確保、自給自足の出来る環境。
69. 宅地化による雑木林の減少をなくすことはできませんか。
70. 景観について、意識を強く持って取り組んでいただきたい。例えば、「母になるなら流山」の親には、文化度の高さプラス田舎らしい環境は魅力的なはず。流山市はそのチャンスを内在している。頑張りたい。もちろん一市民の私も協力します。通勤でつくばエクスプレスのセントラルパーク駅からおおたかの森駅間の車内から見える景色は、美しいです。
71. 乱開発の禁止。
72. 流山の森をどんどん増やして、二酸化炭素対策や防災に役立つようにして欲しいです。
73. ふくろうの森がなくなって、ショックでした。
74. 運河の水の浄化のために、利根川の水を取り込んで欲しい。北高周辺の江戸川土手沿いに、トイレを新設して欲しい。
75. 宅地の量に対して、子どもの遊べる遊具等がある公園が少ない。緑を残さすぎ。おおたかの森駅付近は、商業施設が少ない。

76. 環境、緑の保全を目指す市の施策がある一方で、山林の伐採、宅地化がどんどん進んでいるのが、流山市の現状です。「おおたかの森」では、一度もオオタカを見たことがありません。皮肉なものです。
77. VI-2 の選択肢をみて、自然環境に関心が大きいといいながら、知らない自然スポットが多いのに愕然とした。市の PR も足りないのでは。江戸川台から初石に向かうところの、野馬堀を復活保全させて欲しい。
78. 流山市は、自然豊かで緑地が多いと市は主張しているが、市民にもっと還元して欲しい。例えば、松戸市の「二十世紀の森公園」、野田市の「清水公園」のような、大勢の市民が集まってゆっくりとくつろげる、自然豊かな広大な場所を造って、提供して欲しいと願っている。
79. 新川耕地の現状と将来像を、毎年発表して欲しい。
80. 流山市周辺は、風が強いように感じられます。街路樹等は低木の方が良いと思います。背の高い木は、風で横になったり、枯れる率が高いです。
81. 以前より、緑と野鳥が少なくなったと思います。もっと緑の保全に力を入れて欲しいです。
82. 環境という大きな括りも必要と思いますが、ぜひ、自然環境を政策的に保護活用する専門部署を設けて欲しい。
83. 雑木林をこれ以上少なくしないで欲しい。広い道路にしてから、家のベランダに積もる砂埃がひどく、空気が悪くなった。
84. 流山の自然が急速に失われている。二十年以上住んでいるが、こんな流山には住みたくなくなります。
85. 流山市は土地の水位が低く、江戸川の氾濫が命取り。全ての公園を森に。江戸川からの幾筋もの運河の導入。森と水の街づくりを目指してもらいたい。
86. 流山は自然の多い市をアピールして、市民人口を増やそうとしているようですが、受け入れるのに森林をなくしてはいませんか。もともとある市街地を活性化させ、古いものを活用し、森林がある場所はなるべく保護して欲しいと思います。そういう所には不法投棄もあり、木も管理が必要で、大変だとは思いますが。
87. 子どもへの環境の教育は、積極的にお願います。もう住宅は建てすぎないでください。次々に木がなくなるのを見ると、悲しいです。おおたかの森と名前ばかりで森がない。
88. おおたかの森地域の緑が、全くなくなってしまいました。残念です。建てられた住宅もぎっしりと並び、庭に木も植えられないような造成で、夏は暑すぎ、クーラーに頼るような状態です。もっと造成の仕方を考えて環境を良くするべきです。
89. 徹底的な植林活動を喚起、実行して欲しい。森を無くせば、人間社会全体が減じる。
90. 市内は緑がもっと多かったのに、この数年でだいぶ減らされてしまいました。花と木をこれからでも植えて増やしたいです。私が好きなのはハーブです。ハーブ畑やハーブの森なんて、きれいでいい香りもするしおしゃれです。「ハーブの街ながれやま」にしたら、東京の人も大勢遊びに来ると思います。
91. 流山市に住んで 20 年以上が過ぎ、当初低かった木々も大きくなりました。そのことにより、近くにある公園等に日射が届かなくなり、地面が常に湿った状態です。代替的な剪定があってもよいのではないのでしょうか。
92. 市内の宅地開発が進んでいるが、適度な自然環境を残し、住みやすい街づくりを進めて欲しい。

93. 江戸川までの利根運河土手周辺と、斜面域からの湧水周辺を、公立の公園として、四季の豊かな樹木、花、ホタル、魚を觀賞できる、観光公園地帯にする。そのために必要な土地を確保する。放棄農地を確保して、将来避難可能な公園にする。
94. 都心から一番近いといっているが、流山の中心部に既存の思井の森を保全し、市民が安らげる場として、整備することをやって欲しい。
95. おおたかの森周辺の開発が、予想以上に広範囲で、自然破壊と感じます。もはや、おおたかの住めないビル群です。緑の再生を願います。
96. 市内から緑が消えているように思える。都市化と緑が少なくなることは、一緒であるとは思えない。
97. 市内には、未だ緑豊かな林が残されています。これ以上、減らさないような対策をお願いします。子どもが遊べるような小さな公園も大切にしてゆきたいと思います。
98. 10年前に比べて、畑、雑木林など、緑地が少なくなった。おおたかの森の周囲も、自然がなくなって残念。残して欲しい。
99. 地主さんの木が高くなって、手入れもしないので、朝日が当たらず、困っています。
100. 家庭の合成洗剤使用による河川の汚染を防止して欲しい。石けん使用を推進する。
101. 流山に住んで30年、森や林が消えて寂しい。個人所有であっても、大樹保存の一定の義務があったらと思う。
102. 開発で緑が少なくなりました。できる限り緑を残して欲しい。
103. 水辺環境、特に水質の向上。
104. 15年程前に横浜市から移り住みました、森の街というにはちょっと中途半端な気がします。流山市は、おおたかの森駅前の森のマルシェなどで、近隣市にも知られるようになってきていると思いますが、これからは8拠点でのマーケティングも必要かと思います。
105. 私たちが小田急ハイツに入った頃は自然が多くありましたが、だんだんに自然が失われていく様が寂しく感じます。
106. グリーンチェーンといいながらも、おおたかの森駅周辺は街路樹がほとんどない。夏には日除けがなくて、歩くのも大変。あれだけあった緑を無くしすぎだと思う。
107. つくばエクスプレスの開通により、狭い空き地にもどんどん家が建つようになり、雑木林がなくなっている。できるだけ残すように規制をかけて欲しい。やがては空き家だらけになるのではないかと、心配にもなる。沿線は開発も進んでいるが、業者任せにせず、きちんとした都市計画に基づいた、新しい街をつくらしてほしい。新しい道路だったら、歩道を広く段差を無くし、バリアフリーにして欲しい。
108. 最近、自然環境のためか、いろいろのことがおきているので、緑の減少について考えて頂きたい。
109. 環境とまちおこしのために、流山駅前の行灯の街で終わってしまわないで、その先の今上落を整備して、遊歩道などを造ってみてはどうでしょうか。四季折々に野鳥が沢山います。
110. 近頃、家が多く建てられていますが、一番大事な木を処分しないように、出来るだけ緑を大事にして頂きたいです。
111. オオタカの生息を守り続けて欲しい。緑の多い流山で生活したくて移り住んだ人も多いと思うので、これ以上木を倒さないで欲しい。



112. 最近、急激に林がなくなっている。おおたかの森をいいつつ、特定地区の自然しか残らなくなっている。
113. 市野谷に住んでいますが、周囲の空き地の雑草が生い茂り、害虫が大量発生し、春と秋はベランダに洗濯物も干せず、シャッターすら開けられません。自然を感じたいのに、外に出られないほど困っています。環境整備に力を入れて欲しいです。
114. 流山の発展と開発により、森林は消失しています。共生社会の実現と、里山の風景の保存を願います。
115. 市川市に住んでいたときは、ジョギングコースがバラで囲まれた小さな公園があり、毎週末走っていた。そのようなすてきな公園を作ってください。
116. おおたかの森の自然が、ほとんど残っていないと思います。他の所の自然を残して行って欲しいです。

#### 4) 都市施設、住宅等に係る意見

117. 第二コミュニティに新たな建設をお願いします。現在建物が古くなっています。地震時の緊急避難地とするのも良いです。
118. 流山市はこれから街を整えていくことが出来るエリアが多いと思います。他県や他地域で成功した例など、しっかり研究して頂きたいです。
119. 高齢者が多くいるため、空き家が増えている。防犯、環境等、問題がある。環境対策について、夜間の街灯が暗い。東京から帰ってくると、すぐに千葉に来たということがわかる。
120. 水やその他危険なものをはっきりと表示して、市民の健康管理に力を入れて欲しい。
121. とにかく下水道を早急に整備し、全市域が大雨や洪水に耐えられるようにして欲しい。
122. 年代 60 代で、これから生活環境が住みよい街になる。老後が益々良い街になるよう、自分の出来ることを少しでも、進んで行っていきたくと思います。
123. 工業団地のための土地が、野ざらし状態です。このような土地を、緑化等に有効活用する必要があるのでは。
124. 南流山駅周辺は、駐輪場もきちんとしていて、路上も清掃が行き届き、華やかな店もなく、静かで環境は良いです。住宅地も良いです。
125. おおたかの森駅周辺は、マンションや戸建てがたくさん建設され、ファミリー層の人たちがたくさん住んでいるにも関わらず、公園が少ない、子どもを安心して遊ばせられる場所がない。遊具等が充実している公園を造って欲しい。土手沿いのごみ処理工場の横に、温水プールを造って欲しい。
126. 住居専用地域内にある製造工場から排出される臭気や騒音が、安心・安全・快適であるべき生活環境を著しく低下させている現状を鑑みて、行政セクションから適切な指導強化を図って頂きたい。
127. どんどん事業を拡大し、何台もの車が、排ガスをまき散らし、公道をわがものごとく使用する、事業所、柏の工業地帯に隣接しているため、廃棄物処理場からは我慢できないほどの臭気等がある。市の隅のほうはないがしろにされがちだが、考慮して欲しい。
128. ホームレスによる占拠を防止してください。柏、松戸のようにならないよう希望します。おおたかの森駅周辺はいまのところ大丈夫そうですが。

129. 森や公園が多いことはよいのですが、道路から見えづらいのは、かえって、子どもの遊び場としてはあまりよくないのではと思います。流山市には、歩道の整備をもっとしてもらいたいです。
130. 公園の整備（除染後のままのため土がドロドロになる、遊具が錆びている公園が多い）。長崎小から水辺公園辺りの道路拡充、歩道整備。
131. 大雨対策等として、電線類の地中化を進めて欲しい。また、時間 50 ミリ以上の雨に耐えられるような下水管にする必要がある。
132. 運動公園グラウンドの芝生化、設備の入れ替えが必要と思います。
133. 緑の保護は大切にして欲しいですが、開発をする場合には、統一した景観や交通網など、整えてください、
134. 市内でも地域によって、例えば江戸川台駅周辺と初石駅周辺など、環境整備が著しく違います。市内全体として、良い環境づくりをして欲しい。
135. おおたかの森駅東口の花壇に、パンジー等を植えてくださっていますが、心ない人に掘り返されたり、すぐに枯れたりするのを見て、何かもっと良いやり方はないかと考えていますが、及ばないのが悲しいです。

## 5) 道路、交通等に係る意見

136. 道路を整備しても、不在地や道路際に出た枝が落ち、排水口を塞いで、環境悪化を生じている。
137. 自転車を使用したいと思いますが、車道との区別がなく危険なので、つい車を使いがちです。道路、自転車道、歩道の整備をして欲しいと思います。
138. グリーンバスの拡充（江戸川台～運河、江戸川台駅～流山市役所、初石駅～流山北高～すみれ～運河）
139. グリーンバスについて、路線の拡充、ダイヤの緊密化を進めて頂ければ、マイカーを使わずに済み、省エネかつ市内の渋滞緩和もされるのではないのでしょうか。ポスター等で利用をもっと啓発してみたらいかがでしょうか。
140. 特に交通改革を強力に。
141. 自転車専用道、優先道の整備を望む。
142. 居住区が各方面に拡大しているように思います。居住区への流山鉄道延伸等を実施すれば、市の繁栄につながります。
143. 車が増え、交通量が近年、急に多くなっている気がする。二酸化炭素が気になります。公の交通機関（バス）が、時間帯が縮まるなど、充実すれば、利用者が増え、マイカー利用が減ると思います。
144. 三郷への橋が、いつも渋滞しているので、車からの排気が多くて気になる。県市の枠組みを超えて取り組まなければ、地域の環境は良くならないと思う。
145. 自転車走行のルール徹底。中高校生のマナーが悪い。
146. 東京に通勤の人も多いと思うが、バスの終わりの時間が早すぎる。街灯が少なく暗く、自転車の無灯火が多く、歩いても車でも危ない。
147. グリーンバスをさらに充実させて欲しい。

148. 歩道の設置、歩道の拡充、車の交通量に対し、道路幅が狭いので、危険な箇所が多いと思います。
149. 坂の軽減。渋滞緩和と橋の増設。
150. 街灯が蛍光灯で薄暗く、安全とはいえないので、LED 導入などで明るく長持ちさせて欲しい。道路の工事で段差が生じ、大型自動車を通るたびに、振動がすごいところが多いので、中途半端な工事はやめて欲しい。
151. 事故多発の所に信号等の設置。
152. 夜間道路に暗い場所があるため、街灯を増やして欲しい。
153. グリーンバスが一定方向ばかり通らないで、逆の方向にも運転して欲しい。
154. 現在、自転車の事故が多発していますので、歩行者の安全を優先に考えて、自転車と歩行者のための道路整備を早く取り組んで欲しい。
155. 公共バスをもっと増やして欲しい。東京都のように、高齢者用のサービスも考えて欲しい。
156. 避難場所が遠いので困ります。年寄りには行けません。道路をよくしてください。
157. 交通渋滞による二酸化炭素排出の削減。三郷市方面への橋の増設、迂回路整備、商業施設誘致により車の流れを変える等によって。

## 6) 地球温暖化、エネルギー等に係る意見

158. 個々の家に庭があれば、二酸化炭素吸収に良い木を少しでも植えるように努力する。市民に教えて欲しい。
159. 家を新築する場合、これからの時代は太陽光発電を取り付けることを義務にする位の政策を採らないと、地球が大変なことになると思う。
160. 木の伐採を目の当たりにして、温暖化対策と言うには無理があるのではと、昔からの住民の話を聞いて思いました。
161. 市民による環境保全活動は大切ですが、地球規模で見れば、特に中国の早急な対策が重要。
162. 二酸化炭素を吸って酸素を出している植物を燃やすのは、よいのではないか。
163. 私が出来る温暖化対策は、アイドリングをしない、レジ袋を使わないなど、小さいことかもしれないが、大切だと思う。市内の環境に一番悪いことは、イヌのオシッコとフン。飼い主のモラル。自由に子どもが散歩できる土手にして欲しい。
164. 新川耕地の休耕田を埋め立てて、太陽光発電の基地にして、流山市内の電気をまかなえたらいいと思う。
165. 市としての対策が、ゴーヤ推進だけでは物足りない。公共施設での再生可能エネルギー利用推進にむけ、予算化して欲しい。そうした街として、全国に広める。
166. 市の建築物に、太陽光発電を設置して欲しい。自転車が安全に走れる道が欲しい。
167. 電力消費量の削減に向けて、ソーラー発電を利用した信号機や、小中一貫校の設立の際のソーラー発電や LED 化の推進。公民館、文化会館、図書館などへの LED 導入、小中学校への太陽光発電導入と LED 化、役所も同じく。電力消費量を減らす努力が、温暖化対策につながります。

## 7) 放射能、原子力等に係る意見

168. 市内の除染にもっと力を入れ、特に学校、交通の多い場所の放射線量を下げる対策が必要。
169. 市として脱原発を宣言し、学校や市役所等に太陽光発電を導入する。
170. 原子力発電は、二酸化炭素削減の切り札です。放射能による健康への影響は、マスコミがいうほどはないのが科学者の常識だと思います。正しい放射能の知識を、中高生から教育して欲しい。
171. 原発の汚染は、福島だけでなく、東海村も近い。中国からのPM2.5は、千葉県は唯一注意報を出してくれました。流山も市の取組に信頼と安心感を持っています。屋根取り替えの際には、ソーラーパネル導入を予定しています。
172. 放射能について、正しい環境学習の推進を願っています。現在の対応は、やり過ぎに感じます。影響が皆無であることを証明は出来ずとも、まず心配のない市内の放射性物質の影響を、大人が気にしすぎる状況を、子どもがどう見て育つかのほうに不安です。
173. 原発のない社会を実現したい。そのためにまずできることは、省エネの生活でしょう。家電の買い換えは、省エネのものを選びたい。
174. 流山市の放射能の数値が、震災後に高かったが、この頃はどうなっているのか。今も未だ、危険ごみとして出す、草木の汚染は、どのくらいまで減ってきているのかを知りたい。

## 8) 市政、市民意識等に係る意見

175. 市の端に位置していて、情報伝達に限界があるため、支所のパンフレットで知るくらいです。端まで便利にしてください。
176. このようなアンケートは、ホームページを活用して行うのが、もはや常識ではないか。環境問題アンケートに紙をばらまくのは、趣旨にそぐわない。
177. 環境ISO導入をしっかりと行い、職員や市民に伝えて欲しい。正直遅いと思う。
178. 高齢化した地域が点在している。高齢化対策も含めて市の組織の中の連携を強化する必要がある。
179. おおたかの森駅東口の石碑の文章が、文法的におかしいので、専門家の意見を求めて正して欲しい。
180. 環境問題への関心は、高齢者ほど高いと思うが、後の世代のことを考えると、若年層への意識付けをするために、具体的な実体験の場を設ける必要がある。
181. 母乳育児が、ミルク缶や消毒物のコスト、疾病による医療費の削減につながるという、科学的データが出ています。流山を育児の街、母乳の街にしたらエコにつながるのではないのでしょうか。
182. 今、毎日取り組めるものから、丁寧に向かい合ってしっかり実践することから、何事も続ける努力が必要に思います。
183. 流山の七福神を、もっとみんなに知らせたら、正月がすごく楽しいと思います。
184. 個々が良識にのっとり暮らすこと。
185. 現状で十分だと思う。
186. 良い街にしたい。
187. 私どもは20年以上、隣の公園の落葉掃きを続けてきました。自ら進んで手伝う人はいないのが現状です。すべて、一人ひとりの意識の向上と、組織活動が重要です。

## 2 事業者の自由意見

- 食品リサイクルの工場を作り、出来た堆肥を流山の農家に使ってもらい、とれた野菜を市内の小売店で販売するリサイクルループを、市主導で確立して欲しい。自治体が主導して行っているケースはあまりないので、モデルケースたり得るし、企業で行うには負担が大きい。
- 電気自動車等に使用の EV スターションを造って頂きたい、
- 当方はコンビニエンスストアで、環境対策はチェーン本部が行っており、各フランチャイズはその指導に基づいて動いている。各店での個別の活動は特になく、またチェーン本部の対策の詳細は当方もわからない。従って、本アンケートへの回答は困難である。
- 「緑の街ながれやま」の推進と、市民一丸となつての取組により、強力に押し進めてください。
- まず、身近なところから改革していくこと。①道路の整理整頓、いつまでも道路の縁石等に枯れ草が残っている、砂や泥等の取り除きがされず雑草が生えてくる、もっと道路の清掃をしてもらいたい。②森が豊かだったのが伐採され、今までの緑豊かな流山が壊れてしまっている。もっと景観を大切にしたい。小さな面積の住宅ばかりで、貧民窟を感じる。
- 流山おおたかの森駅周辺の開発について。ぼつぼつとマンションが建ち始めているが、どれもバラバラに開発されている感があり、総合的な街づくり、環境も含めた開発に思えない。ランダムに土地のばら売りで立っているというように見える。